

The background image shows a modern building with a curved, glass-fronted entrance and a large, colorful, abstract sculpture in the foreground. The sculpture consists of several vertical poles with rainbow-colored sections, topped with a complex, geometric, wireframe structure. The building has a mix of brick and glass, and the sky is a clear blue.

要覧 2019

福井県生活学習館(ユー・アイ ふくい)
LIFE-LONG LEARNING & WOMEN'S CENTER

はじめに

福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）は、平成7年7月、女性総合センターと生涯学習センターの機能を併せ持ち、さらに県民の活動、交流の場としての貸館事業も行う複合施設として開館し、今年、開館から25年目を迎えました。

この間、女性総合センターとしては、男女共同参画社会－男女が対等な関係で共に築く社会－の実現を目指し、地域リーダーの育成などを進めて参りましたが、さらに近年は、生涯にわたって希望に沿った働き方を続けられるよう、「ふくい女性活躍支援センター」の機能を強化し、さらなる女性活躍推進のため、女性自身のスキルアップや企業等の改革を応援しています。

一方、生涯学習センターとしては、生涯にわたる学習を促進するため、福井ライフ・アカデミーとして、幅広い分野の講座を提供し、多様化、高度化する学習ニーズに応えてまいりました。今年度も、「ふるさと未来講座」、「ふるさと力サポート講座」を中心に、生涯にわたる学びを地域における活動につなげられるよう、一層の充実に努めてまいります。

また、県内の生涯学習関連情報をオンラインで提供する「福井県生涯学習情報ネットワークシステム（愛称「まなびいネットふくい」）」につきましては、リニューアル2年目となった平成30年度、年間26万3千件のアクセスをいただきました。今後も、引き続き掲載情報の拡充に努め、皆様に親しまれるシステムを目指してまいります。

令和の時代を迎え、これまで以上に県民の皆様に親しまれ、必要とされる生活学習館となりますよう、より充実した事業展開を図ってまいりますので、ご指導、ご支援をお願い申し上げます。

ここに、「要覧2019」を発行いたしました。ご一読いただければ幸いです。

令和 元年 5月

福井県生活学習館
館長 森 近 悦 治

目 次

I	運 営 方 針	1
II	主要機能と事業	1
III	沿 革	2
1	男女共同参画推進事業	2
2	生涯学習推進事業	3
IV	事 業 概 要	4
1	令和元年度事業体系	4
	男女共同参画推進事業	4
	生涯学習推進事業	5
	(生涯学習推進事業のうち「福井ライフ・アカデミー」体系)	6
2	令和元年度事業計画	8
	男女共同参画推進事業 ゆー・あいカレッジ	8
	生涯学習推進事業	9
3	平成30年度事業実績	14
	男女共同参画推進事業 ゆー・あいカレッジ	14
	生涯学習推進事業	21
4	施設利用状況	31
5	ふくい女性活躍支援センター利用状況	32
6	女性総合相談・DV被害者相談の利用状況	33
7	生涯学習に関する相談等の状況	34
8	人材の登録状況	35
9	オンラインによる情報提供	36
10	視聴覚教材、機器、図書	38
V	施 設 概 要	40
1	建築概要	40
2	施設配置図	40
関 係 資 料		
(1)	福井県生活学習館の設置および管理に関する条例	43
(2)	福井県生活学習館の設置および管理に関する条例施行規則	46
(3)	福井県行政組織規則	48
(4)	福井県教育委員会行政組織規則	49
(5)	福井県映像ライブラリー備付教具教材使用規則	49
(6)	福井ライフ・アカデミー設置要綱	51
(7)	福井ライフ・アカデミー事業実施要領	52
(8)	福井ライフ・アカデミー運営委員会開催要領	52
(9)	平成31年度福井ライフ・アカデミー共催講座 実施要領	53
(10)	福井ライフ・アカデミー連携事業 実施要項	54
(11)	福井ライフ・アカデミー共催講座協議会 開催要領	55

福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）

名 称 福井県生活学習館（愛称 ユー・アイ ふくい）
所在地 福井市下六条町 1 4 - 1
開 設 平成 7 年 7 月 1 日

I 運営方針

生活学習館（ユー・アイ ふくい）は、「男女が共に参画する社会の実現」と「いつでも、どこでも、誰でも学べる生涯学習社会の推進」の 2 つを目的に、県民が集い、活動し、表現し、そして交流する場と機会を提供する複合施設として整備されたものであり、次のような特色を念頭に運営しています。

- ◎ 広く県民に開放し、生涯にわたるあらゆる分野の学習・文化活動の支援
- ◎ 女性の自立と社会参画を促進し、男女が共に築く社会づくりを目指した活動の支援
- ◎ 県民一人ひとりあるいはグループ、団体相互の出会い、ふれあいの場の提供
- ◎ 社会情勢の変化に対応した新鮮な情報の提供と、ふるさとの歴史や風土に即した事業の展開

II 主要機能と事業

「ユー・アイ ふくい」には下記の 5 つの機能があり、それぞれに対応した事業を展開しています。

- ◎ 企画・相談機能
事業の総合企画や広報誌の発行、生涯学習相談、女性総合相談、女性の社会参加支援
- ◎ 交流支援機能
イベントの開催や学習グループ、ボランティア活動団体等への場の提供などを通じた各種交流の支援
- ◎ 学習・研修機能
男女共同参画社会形成に向けた講座の開催や、福井ライフ・アカデミーによる講座・講演会の開催を始めとする様々な学習・研修機会を提供
- ◎ 情報提供機能
県・市町や県内の社会教育機関・団体等が主催する講座等の情報をだれもがいつでもどこでも手軽に入手できる「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」の運用を柱とした各種情報の提供ならびに図書・情報誌やDVD等情報メディアの設置・貸出しと活用支援
- ◎ 調査、研究機能
通年で行う学習ニーズ調査を始め、必要に応じて各種意識調査や専門研究を実施

Ⅲ 沿 革

1 男女共同参画推進事業

- 平成 3. 12 生活学習館（仮称）基本計画を策定（青少年女性課、生涯学習課）
ー女性総合センターと生涯学習センターの複合施設としてー
- 平成 6. 1 福井県女性対策地域リーダー養成講座（ふくい女性ソフィア）標準コース開講
- 平成 7. 1 正式名称「福井県生活学習館」、愛称「ユー・アイ ふくい」を発表
- 平成 7. 3 ふくい女性ソフィア専門コース開講
- 平成 7. 7 福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）開館
- 平成 7. 10 ふくい女性大学開講（翌年 若狭図書学習センターでも開講）
- 平成 8. 2 ふくい女性ソフィア総合コース開講
- 平成 10. 3 ふくい男女共同参画プラン（男女共同参画社会の実現をめざす21世紀県内行動計画）策定
- 平成 11. 6 「男女共同参画社会基本法」施行
- 平成 12. 10 生活学習館開館5周年記念「ユー・アイふくいフェスタ」開催
- 平成 13. 10 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」施行
- 平成 14. 4 「福井県男女共同参画計画」策定
- 平成 14. 4 生活学習館を配偶者暴力被害者支援センターと位置づけ
- 平成 14. 5 「ゆー・あいカレッジ」開講
- 平成 14. 11 「福井県男女共同参画推進条例」施行
- 平成 16. 12 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策に関する基本的な方針（国の基本方針）」策定
- 平成 17. 7 生活学習館開館10周年記念「ユー・アイふくいフェスティバル」開催
- 平成 18. 3 「配偶者暴力防止および被害者保護のための福井県基本計画」策定
- 平成 18. 12 「福井県男女共同参画計画」改定
- 平成 19. 8 女性活躍支援センター開設
- 平成 21. 3 「配偶者暴力防止および被害者保護のための福井県基本計画」改定
- 平成 24. 3 「第2次福井県男女共同参画計画」策定
- 平成 26. 3 「配偶者暴力防止および被害者保護のための福井県基本計画」改定
- 平成 26. 4 男女共同参画推進事業を公益財団法人ふくい女性財団へ全面委託
- 平成 26. 6 女性活躍支援センターをリニューアル（機能強化）
- 平成 27. 3 女性活躍支援センターにおいて職業紹介事業を開始
- 平成 27. 9 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」施行
- 平成 29. 3 「第3次福井県男女共同参画計画」策定
- 平成 31. 3 「配偶者暴力防止および被害者保護等のための福井県基本計画」改定

2 生涯学習推進事業

- 昭和 54. 3 社会教育センター調査研究会が「福井県生涯学習センター基本構想に関する報告書」を福井県教育長に提出
- 昭和 57. 3 福井県生涯学習センター発足
- 昭和 57. 10 福井県生涯学習センター設置
- 昭和 59. 5 生涯学習大学連絡協議会設置
- 昭和 63. 4 福井県生涯学習センターを知事部局から教育庁へ移管
- 平成 3. 7 福井ライフ・アカデミー設立準備委員会設置
- 平成 3. 7 福井県生涯学習センター（新センター）整備検討委員会設置
- 平成 3. 11 「福井ライフ・アカデミー基本構想」策定
- 平成 4. 8 福井ライフ・アカデミー開校式（8月4日）
- 平成 5. 7 福井ライフ・アカデミー開講1周年記念「生涯学習推進のつどい（マナビ・フェスティバル）」開催（7月13日）
- 平成 7. 6 生涯学習センター学習室（県民会館）閉鎖
- 平成 7. 7 福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）開館
- 平成 7. 10 県立図書館若狭分館に生涯学習推進機能を持たせ、名称を「若狭図書学習センター」に改称
- 平成 7. 11 「生涯学習推進のつどい（マナビ・フェスティバル）in 小浜」を開催
- 平成 11. 4 福井県生涯学習大学開放講座協議会を設置
- 平成 12. 10 生活学習館開館5周年記念「ユー・アイふくいフェスタ」開催（特別企画「岡倉天心と日本人の心」ほか）
- 平成 14. 1 「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」運用開始
- 平成 17. 7 生活学習館開館10周年記念「ユー・アイふくいフェスティバル」開催（同時開催「北陸三県生涯学習ボランティア講師交流会」ほか）
- 平成 19. 10 「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」をリニューアルし、運用開始（愛称 ユー・アイふくいネット）
- 平成 21. 9 福井ライフ・アカデミー 入学生総数1万人を達成
- 平成 27. 7 高校生以下を対象とした「子どもカード」を発行し、子ども独自の単位認定を開始
- 平成 29. 3 福井ライフ・アカデミーの単位認定制度を終了（「子どもカード」は継続）
- 平成 29. 4 「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」をリニューアルし、運用開始（愛称 まなびいネットふくい）

IV 事業概要

1 令和元年度事業体系

(1) 男女共同参画推進事業

女性のエンパワメントと活躍社会づくり

1 男女共同参画学習事業

(1) ゆー・あいカレッジ

【男女パートナーシップ推進コース】

- ①指導者養成講座 ②地域連携講座
- ③教育連携講座 ④県民活動支援講座

【次世代育成コース】

- ①次世代育成セミナー
- ②高校生のための「科学・技術者への招待セミナー」

【働く女性のキャリアアップ応援コース】

- ①キャリアアップ応援講座
- ②女性の再就職等チャレンジ支援セミナー

【企業における女性活躍推進コース】

- ①キャリア・アカデミー
- ②管理職のための女性人材育成セミナー
- ③企業連携講座（企業への講師派遣研修）

【男性の家事・育児参画コース】

- ①カップル応援講座
- ②新米パパ・ママ応援講座

2 女性活躍支援センター事業

- (1) 女性キャリア相談（女性キャリア相談員）
- (2) 女性のための研修
- (3) 働く女性のネットワークづくり
- (4) 女性の再就職支援、職業紹介（就職支援指導員、マッチングアドバイザー）
- (5) 保育所・子育て相談（保育コンシェルジュ）
- (6) 雑誌、図書等の整備および情報収集・提供

3 女性総合カウンセリング事業

- (1) 一般相談・DV被害者相談（女性総合相談員）
- (2) 特別相談（弁護士、臨床心理士）

4 配偶者暴力被害者支援センター事業

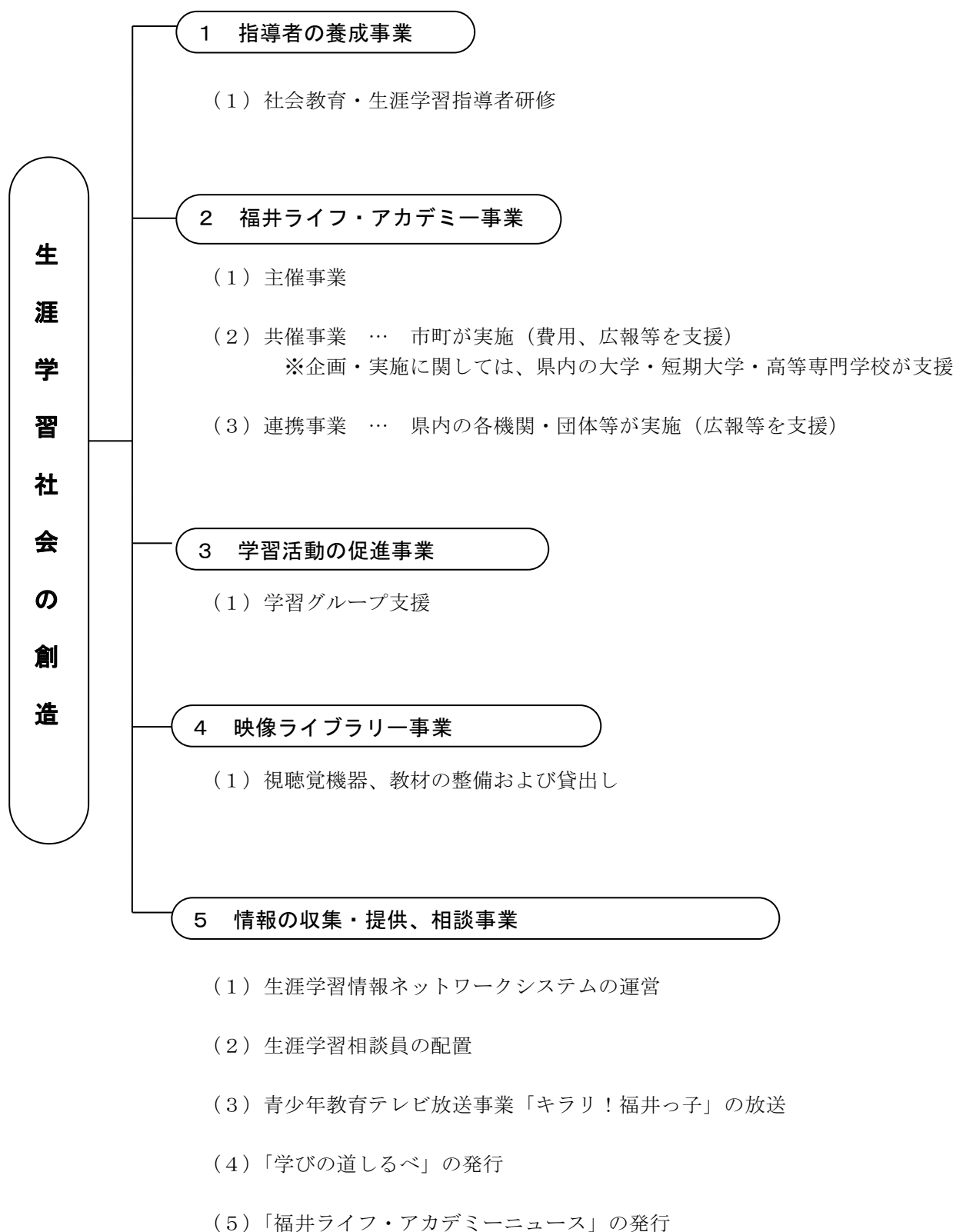
- (1) スーパーバイザーの設置
- (2) ステップハウスの提供

5 ふくいきらめきフェスティバル開催事業

6 情報の収集・提供等

- (1) 図書の整備および貸出し

(2) 生涯学習推進事業



福井ライフ・アカデミー体系表

【基本的理念】

人と地域を未来につなぐ
学習機会の提供

ふるさと福井への誇りと
愛着を育むとともに、
学びを地域での実践に
生かす学習機会を提供

学習機会の充実

学習の場の拡充
学習時間帯の拡充
情報提供の拡充

学習内容の充実

多岐にわたる学習分野
アカデミックな内容
タイムリーな内容
実践型の内容

実践と発展

学習成果を地域で実践し、
ふるさとの発展に貢献

【福井県生活学習館】 (ユウ・アイ ふくい)

福井ライフ・アカデミー本部

- ・学 長 — 知 事
- ・副学長 — 教育長・総合政策部長

《事務局》

- ・事務局長
県生涯学習センター所長
- ・事務局員
県生涯学習センター職員
若狭図書学習センター職員

《運営委員会》 10名

- ・学識経験者
- ・実施機関代表
- ・学習者代表

主 催 事 業

共 催 事 業

連 携 事 業

学
習
分
野

教育一般
人間・社会・歴史
自然科学・環境
産業・技術
芸術・文化
スポーツ・レクリエーション
家庭生活・趣味
ボランティア
市民生活・国際
男女共同参画

【実施機関】

福井県生涯学習センター
若狭図書学習センター

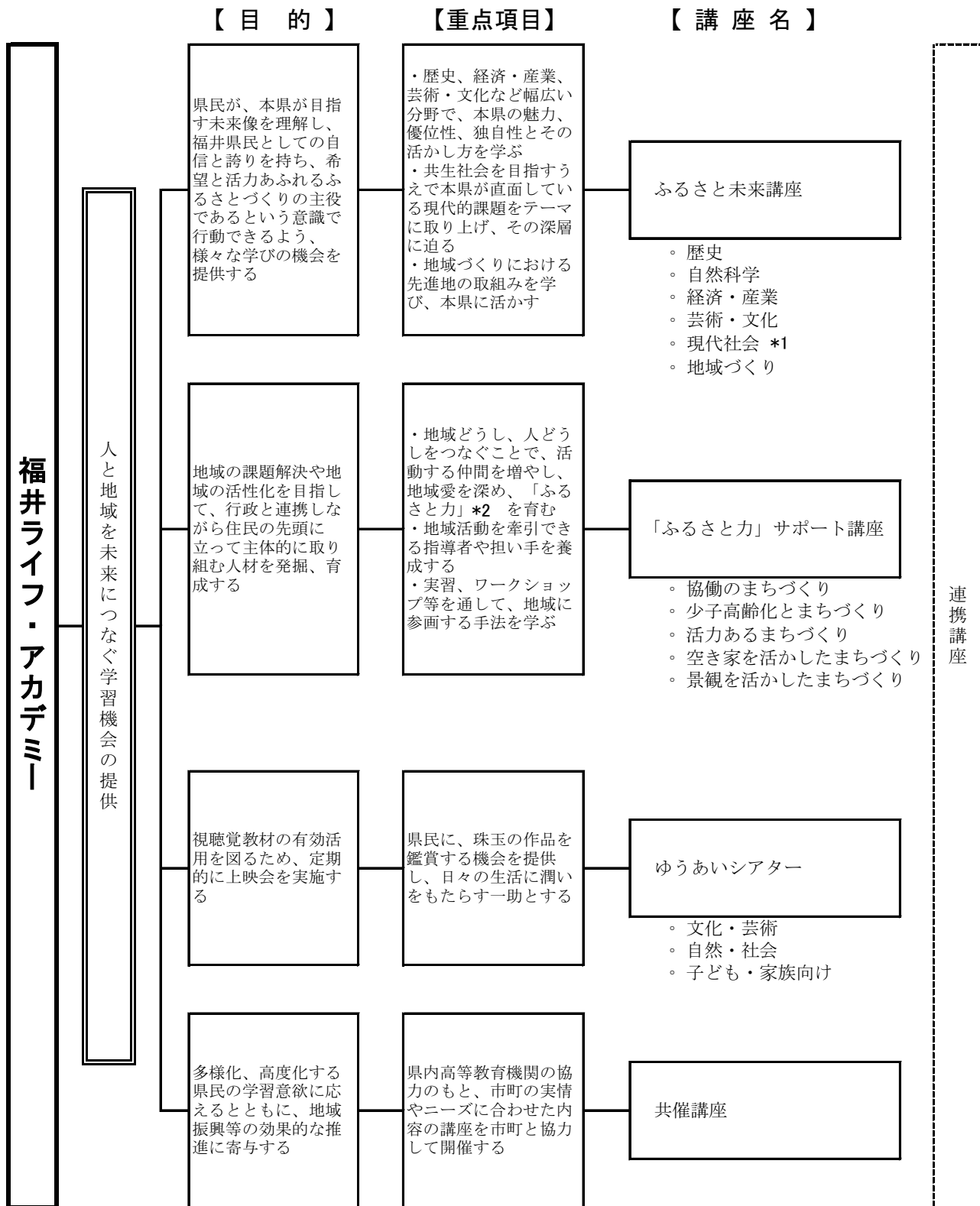
市町生涯学習センター
公民館 等

大学
短期大学
工業高等専門学校 等

県の他の部局
県立の施設
市町の他の部局
市町立の施設

関係団体・グループ

福井ライフ・アカデミー講座体系



*1 現代社会：共生社会を目指すうえでの現代的課題をテーマとする講座（子育て支援、障害者福祉、高齢者の生きがい創出、人間性の回復・向上、人間関係の再構築、世代間交流、外国人とのかかわり等、多岐の分野から選択）

*2 「ふるさと力」：地域の課題に向き合い、その解決に向けて主体的に関わる力

2 令和元年度事業計画

(1) 男女共同参画推進事業

1 男女共同参画学習事業 ゆー・あいカレッジ

コース名・講座名		目的・内容	コマ数	開催月
男女 パート ナー シ ッ プ	指導者養成講座	地域のリーダーとして男女共同参画を推進する人材を育成するため、必要な知識や技能を学ぶ講座を開催する。	4	7月～3月
	地域連携講座	地域社会における男女共同参画が推進するよう、公民館等が開催する研修に講師を派遣し支援する。	7	4月～3月
	教育連携講座	教育関係者が男女共同参画に対する理解を深め、子どもたちと適切に関わることができるよう、勉強会等に講師を派遣し支援する。	6	4月～3月
	県民活動支援講座	各層の男女共同参画が推進するよう、県内のグループや団体が企画・運営する勉強会等に講師を派遣し支援する。	3	4月～3月
次 世 代 育 成	次世代育成セミナー	中学生に対し、社会に存在する固定的性別役割分担意識に捉われることなく将来の職業や生き方を選択できるよう、必要な知識や先輩の体験談などを学ぶ機会を提供する。	4	7月～3月
	高校生のための「科学・技術者への招待セミナー」	女子高校生が、性別ではなく自身の興味や適性によって自由に進路を選択、チャレンジできるよう、特に理系分野で活躍しているロールモデルからアドバイスを受ける機会を提供する。	2	7月～12月
働 く 女 性 の キ ャ リ ア	キャリアアップ応援講座	女性が、ステップアップしながら働き続けられるよう、キャリア形成に役立つ知識やスキルを学ぶ機会を提供する。	10	6月～3月
	女性の再就職等 チャレンジ支援セミナー	出産・育児や介護等で離職した女性が円滑に再就職できるよう、必要な知識や情報を提供し支援する。	4	6月～2月
企 業 に お け る 女 性	キャリア・アカデミー	企業の中でリーダーとして活躍できる女性人材を育成するため、資質や意欲を向上できる機会を提供し支援する。	12	8月～9月
	管理職のための女性人材 育成セミナー	企業で働く女性たちが存分に能力を発揮して活躍できるよう、管理職を対象に、正しいマネジメントスキルを身に付ける機会を提供する。	4	7月～12月
	企業連携講座	企業が、社員を対象として、働き方の改革や女性人材の活躍支援を図るための研修を行う場合に、講師を派遣し支援する。	5	4月～3月
男 性 の 家 事 ・ コ ー ス	カップル応援講座	夫婦が、家事や育児を対等に協力し合う家庭を築き、二人で幸せになる将来設計を描くことができるよう、考え学ぶ機会を提供する。	2	10月～3月
	新米パパ・ママ応援講座	子育て中の夫婦が、協力して家事・育児を行うとともに、楽しんで子育てを続けることができるよう、スキルや知識を身に付ける機会を提供する。	4	7月～12月

(※1 コマは90分～120分)

2 ふくいきらめきフェスティバル開催事業

事業名	内 容	開催日・会場
ふくいきらめきフェスティバル 2019	男女共同参画社会の実現に向け、各世代の男女県民が集い、体験や発表、学習などを通して交流する。	6月29日・生活学習館

(2) 生涯学習推進事業

1 指導者の養成事業

事業名	内 容	開催（予定）月
社会教育・生涯学習指導者研修	業務またはボランティアで社会教育や生涯学習に携わる者が、地域社会の課題等に適切に対応し、社会教育や生涯学習の指導者として期待される役割を十分に果たせるよう、必要な知識や情報、技能等を身に付ける研修機会を提供する。	10月

2 福井ライフ・アカデミー事業

(1) 主催事業

福井ライフ・アカデミー本部が企画し、生活学習館または若狭図書学習センターを主会場として実施する事業。

講座名	目的	分野・内容等	回数	開催（予定）月
ふるさと未来講座	県民が、本県が目指す未来像を理解し、福井県民としての自信と誇りを持ち、希望と活力あふれるふるさとづくりの主役であるという意識で行動できるよう、様々な学びの機会を提供する	生活学習館が企画、実施		
		歴史	3	7月～2月
		自然科学	3	7月～11月
		経済・産業	3	6月～10月
		芸術・文化	3	10月～1月
		現代社会	3	8月～3月
		地域づくり	3	6月～12月
		若狭図書学習センターが企画、実施		
		自然科学	2	7月～10月
		芸術・文化	2	7月～11月
		現代社会	2	7月～10月
		地域づくり	2	6月～12月

講座名	目的	分野・内容等	回数	開催（予定）月
「サポート講座 ふるさと力」	地域の課題解決や地域の活性化を目指して、行政と連携しながら住民の先頭に立って主体的に取り組む人材を発掘、育成する	生活学習館が企画、実施		
		第1期（協働のまちづくり）	5	5月～6月
		第2期（少子高齢化とまちづくり）	5	8月～9月
		第3期（活力あるまちづくり）	5	11月～12月
		若狭図書学習センターが企画、実施		
		第1期（空き家を活かしたまちづくり）	5	7月～9月
		第2期（景観を活かしたまちづくり）	5	11月～2月

講座名	目的	分野・内容等	回数	開催（予定）月
ゆうあいシアター	視聴覚教材の有効活用を図るため、定期的に上映会を実施する ※生活学習館のみで実施	生活学習館が企画、実施		
		上映作品「サクラサク」	4	4月
		〃 「みすゞ」	4	7月
		〃 夏休みこどもシアター(上映作品未定)	4	8月
		未定		10月
		〃		12月
		〃		2月

(2) 共催事業

「福井ライフ・アカデミー共催講座実施要領」に基づき市町が企画、実施する事業で、福井ライフ・アカデミー本部が費用や広報を支援する。

市 町	テーマ・講師	開催（予定）月
福井市	笑って笑ってストレス解消 仁愛大学 非常勤講師 山村 恵子	7月
	宇宙から見える「ふるさと福井」 福井工業大学 教授 青山 隆司	8月
	唱歌の四季（予定） 講師は調整中	11月
	水と環境 ～暮らしの中の水環境～（予定） 講師は調整中	11月
敦賀市	子どもの自尊感情を高める ～みんなが変われば子育てが変わる～ （予定） 講師は調整中	10月
	「子どもの育ち」「親の育ち」を支える ～人と関わる力を育む～ （予定） 講師は調整中	11月
小浜市	巨大地震や津波が発生したら何をする（予定） 講師は調整中	8月
	おもてなしの心で外国人に小浜を紹介しよう（予定） 講師は調整中	12月
大野市	自宅でできる！健康を保つ食事と健康 ～筋肉をつけて健康増進～ 仁愛大学 教授 鳴瀬 碧	7月
	心のいきいき健康講座 ～ストレスをためない生き方をしよう～ （予定） 講師は調整中	9月
勝山市	家族で科学実験をしよう！ 丸岡南中学校 教諭 月僧 秀弥	7月
	越前の湧水を中心として ～湧水調べと湧水の利用～ 福井工業大学 准教授 辰巳 佳次	8月
	被災地から学び、災害に備える 福井大学 教授 酒井 明子	8月
	作って飛ばそう紙コプター（予定） 講師は調整中	10月～11月
鯖江市	認知症の基礎知識と対応ポイント 福井県立すこやかシルバー病院 看護部長 高嶋 康子	5月
	元気と病気のステキな関係 ～人生100年時代の健幸学～ おおい町国保名田庄診療所 所長 中村 伸一	6月
	被災地から学び、災害に備える 福井大学 医学部 助教 酒井 彰久	7月
	気象から見たふるさとふくい環境（予定） 講師は調整中	9月
あわら市	知っていますか？くすりの常識非常識 敦賀市立看護大学 教授 山崎 弘美	5月
	睡眠と健康 ～良質な眠りとは～ 福井医療大学 講師 藤本 ひとみ	6月
	心のいきいき健康講座 ～ストレスをためない生き方をしよう～ 敦賀市立看護大学 教授 長井 麻希江	7月
	桑野遺跡から見た縄文世界（予定） 講師は調整中	10月

市 町	テーマ・講師	開催（予定）月
越前市	家庭菜園の雑草管理について ～憎たらしいけど、意外と可愛い雑草たち～ 福井県立大学 准教授 水口 亜樹	6 月
	親子でワクワク 算数・数学おもちゃ箱 仁愛大学 教授 伊禮 三之	7 月
	子どもの放課後活動と地域コミュニティ（予定） 講師は調整中	11月
	アメリカの深層 ～アメリカ大統領選挙と日米関係のゆくえ～（予定） 講師は調整中	3 月
坂井市	明るく楽しく！！ハキハキと！ F B Cアナウンス部 エキスパートアナウンサー 森本 茂樹	7 月
	福井平野の形成と活断層（予定） 講師は調整中	9 月
	福祉と健康教室 シナプソロジー体操（予定） 講師は調整中	1 1 月
	生命の設計図DNAの解析から何がわかるか（予定） 講師は調整中	12月
永平寺町	食のちからを育てよう ～健康を意識した食品選び～（予定） 講師は調整中	11月
南越前町	世界からみたユニークな日本 福井工業大学 教授 松岡 博幸	6 月
	怪我を防止するためのストレッチング 福井医療大学 講師 東 伸英	7 月
越前町	子どもの自尊感情を高める（予定） 講師は調整中	9 月～10月または 2 月～3 月
美浜町	転倒予防！！頑張らなくてもできるコツ伝授 福井医療大学 教授 藤本 昭	9 月
	美浜町歴史フォーラム（予定） 講師は調整中	11月
	美浜町歴史フォーラム（予定） 講師は調整中	11月
高浜町	スポーツ指導！知って得する使える知識（予定） 講師は調整中	2 月
若狭町	血管年齢を若返らせて健康寿命を延ばそう（予定） 講師は調整中	1 月
	楽観主義と悲観主義の心理学（予定） 講師は調整中	2 月
計 4 0 回		

令和元年5月29日現在

（３）連携事業

「福井ライフ・アカデミー連携事業実施要項」に基づき県内の公的機関、教育機関または生涯学習の推進に資する団体等が企画、実施する事業で、福井ライフ・アカデミー本部が広報を支援する。

3 学習活動の促進事業

事業名	内 容	実施期間
学習グループ支援	県民の自主的な学習活動を奨励するため、生活学習館や若狭図書学習センターを拠点として学習を継続しているグループに対し、練習場所や成果発表の場を提供し、支援する。	通 年
支援対象グループ		
生活学習館を活動拠点とするグループ	悪魔の飽食福井合唱団、アンサンブルG・G、越前陶芸村「ひいろの会」、NPO法人福井県スペイン語研究会、NPO法人福井県発明くふう研究会、コーラス華（HANA）、混声合唱団福井コールアカデミー、紫水会、女声合唱団もんしろちょう、白川文字学遊愛会、雪炎俳句会、全日本写真連盟福井支部、男声合唱団ゴールデンエイジふくい、陶遊、向日葵の会、福井絵画友の会、福井きのこ会、ふくいコカリナアンサンブル、マウスdeまなぼ、みどり会囲碁クラブ、遊あい俳句会、煉戯窓、Wasi遊楽（計23グループ）	
若狭図書学習センターを活動拠点とするグループ	ミュージックフレンズ、若狭歌人集会、若狭読書会（計3グループ）	

4 映像ライブラリー事業

事業名	内 容	実施期間
視聴覚機器、教材の整備および貸出し	視聴覚機器やビデオ・DVDなどの視聴覚教材を整備して活用するとともに、公的機関や社会教育団体等へ貸出しを行う。	通 年

5 情報の収集・提供、相談事業

事業名	内 容
生涯学習情報ネットワークシステムの運営	県・市町や関係機関・団体等が主催する講座・催し物情報のほか、生涯学習関連の施設情報、視聴覚教材・図書情報、講師情報などをオンラインで提供する「福井県生涯学習情報ネットワークシステム（愛称：まなびいネットふくい）」を運営し、県民の生涯学習環境の向上に資する。
生涯学習相談員の配置	多様化、高度化する県民の生涯学習ニーズに対応するため、生涯学習に関する情報や助言を提供できる生涯学習相談員2名を配置する。
青少年教育テレビ放送事業「キラリ！福井っ子」の放送	青少年の健全育成と家庭教育の振興をめざし、親と子が語り合える機会を提供するため、青少年の実態や活躍を取り上げた15分間のテレビ番組の制作と放送をテレビ局に委託する。
「学びの道しるべ」の発行	生活学習館の機能や事業実施状況などを広く県民に周知し、生活学習館に対する理解や協力を得るため、機関広報誌「学びの道しるべ」を年3回発行する。
「福井ライフ・アカデミーニュース」の発行	生涯学習関連情報が広く県民に提供され、貴重な学習機会が有効に活用されるよう、主催、共催、連携事業の開催予定を掲載した情報誌「福井ライフ・アカデミーニュース」を毎月発行する。
ホームページの運営	生活学習館が主催、または委託して実施する男女共同参画・女性活躍推進事業や生涯学習推進事業、その他の事業に関する情報のほか、施設予約に関する情報等を掲載したホームページを運営する。

3 平成30年度事業実績

(1) 男女共同参画推進事業

1 男女共同参画学習事業 ゆー・あいカレッジ

① 男女パートナーシップ推進コース

1	指導者養成講座	地域のリーダーとして男女共同参画を推進する人材を育成するため、必要な知識や技能を学ぶ講座を開催する。	
開催日	会場	テーマ・講師	
8月30日（木）	生活学習館	情報発信 ～積極的なアウトプット～／入門編 知っておこう！新しい情報発信と共有のこと 株式会社 カウベル・コーポレーション 代表取締役 森川 徹志	
9月9日（日）	〃	情報発信 ～積極的なアウトプット～／活用編 やってみよう！SNSを活用した情報発信とマーケティング 株式会社ふくいコミュニケーションズ取締役、仁愛女子短期大学准教授 澤崎 敏文	
11月24日（土）	〃	働きやすさとは～ワークライフバランスの再考～ 資生堂はワーキングマザーに冷たいのか？真の女性活躍を目指す改革 日本経済新聞社経済解説部編集委員／女性面元編集長 石塚 由紀夫	
3月16日（土）	〃	SDGsをゲームで知る ～世界とのつながりを体感しよう～ 一般社団法人イマココラボ プロフェッショナルファシリテーター 森本 菜都美	

2	地域連携講座	地域社会における男女共同参画が推進するよう、公民館等が開催する研修に講師を派遣し支援する。	
開催日	主催者	テーマ・講師	
11月17日（土）	若狭女性ネットワーク	地域活動に活かす！～相互理解を深める上手なコミュニケーション～ びわこ学院大学 教育福祉学部 講師 竹澤 賢樹	
11月25日（日）	勝山市野向町龍谷区	地域での男女共同参画・女性活躍 福井大学 国際地域学部 講師 田中 志敬	
12月7日（金）	永平寺男女共同参画ネットワーク	ようこそ家の事（こと）へ～夫婦でシェアする家事のコツ～ 家事塾 1級家事セラピスト 松本 照美	
1月9日（水）	波松区福祉委員会ふれあいサロンOhana	高齢世代にとっての男女共同参画 落語家 はやおき亭 貞九郎	
2月23日（土）	小浜男女共同参画ネットワーク	老若男女で支える地域づくり～「男女共同参画」で地域づくりを考える～ 福井大学 国際地域学部 講師 田中 志敬	

3	教育連携講座	教育関係者が男女共同参画に対する理解を深め、子どもたちと適切に関わることができるよう、勉強会等に講師を派遣し支援する。	
開催日	主催者	テーマ・講師	
教職員研修			
10月31日（水）	敦賀高校	性の多様性について（LGBTの理解と対応） 福井工業大学 非常勤講師 武内 昭子	
生徒研修			
10月26日（金）	奥越明成高校	束縛って、愛なの？～思春期の恋愛・交際・デートDVについて～ 福井工業大学 非常勤講師 武内 昭子	
11月9日（金）	美方高校	多様な性について考える 福井工業大学 非常勤講師 武内 昭子	
11月29日（木）	丹南高校	安心できる関係づくり♡デートDVの被害者にも加害者にもならないために 公益財団法人 ふくい女性財団 東野 香里	
1月24日（木）	越前中学校	安心できる関係づくり♡デートDVの被害者にも加害者にもならないために 公益財団法人 ふくい女性財団 東野 香里	
2月14日（木）	科学技術高校	安心できる関係づくり♡デートDVの被害者にも加害者にもならないために 公益財団法人 ふくい女性財団 東野 香里	

4	県民活動支援講座	各層の男女共同参画が推進するよう、県内のグループや団体が企画・運営する勉強会等に講師を派遣し支援する。	
開催日	主催者	テーマ・講師	
9月27日（木）	福井いきいき会	元気にイキイキ！自分らしく～シニア世代の男女共同参画～ 福井県立大学 看護福祉学部 准教授 吉弘 淳一	
2月21日（木）	商工会女性部連合会	コミュニケーションスキル研修～相手も自分も尊重する聴き方・伝え方～ 中村まゆみ社会保険労務士事務所アソシエ メンタルオフィス 代表 中村 まゆみ	

② 次世代育成コース

1	次世代育成セミナー	中学生に対し、社会に存在する固定的性別役割分担意識に捉われることなく将来の職業や生き方を選択できるよう、必要な知識や先輩の体験談などを学ぶ機会を提供する。 テーマ：私が選ぶ私の進路 ～一人ひとりが輝くために～	
開催日	実施校	体験発表協力企業等	
12月7日（金）	明道中学校	仁愛大学、福井市郷土歴史博物館、西田建設株式会社、福井県警察本部 わか保育園、AIR Nail、福井県立病院	
12月13日（木）	丸岡中学校	長田農園、伊藤瑞貴建築設計事務所、嶺北消防組合嶺北消防署 わか保育園、有限会社ダイケイ笑楽日、福井大学医学部付属病院救急部	
1月30日（水）	金津中学校	仁愛大学、伊藤瑞貴建築設計事務所、福井県警察本部、株式会社福井新聞社 わか保育園、坂井市立三国病院、Van Family丸岡店	
1月31日（木）	芦原中学校	仁愛大学、嶺北消防組合嶺北あわら消防署、株式会社福井新聞社 わか保育園、福井中央クリニック	

2	高校生のための「科学・技術者への招待セミナー」	女子高校生が、性別ではなく自身の興味や適性によって自由に進路を選択、チャレンジできるよう、特に理系分野で活躍しているロールモデルからアドバイスを受ける機会を提供する。	
開催日	実施校	テーマ・講師	
7月17日（火）	敦賀高校	電機メーカーでお料理づくり ～水なし自動調理鍋「ヘルシオホットクック」の紹介～ シャープ株式会社 健康・環境システム事業本部 辻 智恵美 交流会：理系選択後の将来って？ 協力企業等：株式会社日本ピーエス、日本電産テクノモータ株式会社 福井県園芸研究センター	
11月14日（火）	勝山高校	対話A I 研究開発の世界 株式会社NTTドコモ サービスイノベーション部 大西 可奈子 交流会：理系選択後の将来って？ 協力企業等：マイランE P D 合同会社勝山事業所、福井県衛生環境研究所 福井大学工学部	

③ 働く女性のキャリアアップ応援コース

1	キャリアアップ応援講座	女性が、ステップアップしながら働き続けられるよう、キャリア形成に役立つ知識やスキルを学ぶ機会を提供する。	
開催日	会場	テーマ・講師	
6月1日（金）	生活学習館	自分プロデュース 後輩と上司の板挟みも怖くない！ 苦手な人を克服する“タイプ別コミュニケーション” 株式会社 はぴきやり 代表取締役 はぴきやりアカデミー 代表 i - c o l o r エグゼクティブトレーナー 金沢 悦子	
10月31日（水）	〃	仕事の神様が“ひいき”したくなる！ ～考え方、言葉、行動をプラスに変えて価値ある人財になる～ 株式会社シェリロゼ 代表取締役 井垣 利英	
11月30日（金）	〃	自分プロデュース ワンランクアップの心くばりを添えるワザ 「手書きのひと言」がお客さまの心をつかむ！ 一般社団法人手紙文化振興協会認定講師 おかもと円果	
1月19日（土）	〃	情報を描いて伝えて生産性向上！ 仕事で役立つビジュアル化のトレーニング 株式会社TAM えがこう！ディレクター 日高 由美子	
2月2日（土）	〃	「なりたい自分」をメイクで手に入れる！ ～メイクした顔を「自分の名刺」にしよう～ p u e r i c o l o r 主宰 メイクセラピスト 蓑輪 恵理子	
2月20日（水）	〃	好感度UPのオフィスメイク ～メイクした顔を「自分の名刺」にしよう～ p u e r i c o l o r 主宰 メイクセラピスト 蓑輪 恵理子	

2	女性の再就職等 チャレンジ支援セミナー	出産・育児や介護等で離職した女性が円滑に再就職できるよう、必要な知識や情報を提供し支援する。
開催日	会場	テーマ・講師
6月27日（水）	生活学習館	女性のための再就職支援セミナー 管内雇用失業情勢及びハローワーク福井の就職支援について ハローワーク福井 統括職業指導官 辻 充也 働くための準備を始めよう！私の新しい一歩のために 社会保険労務士 森口 美和子
6月28日（木）	〃	明るく楽しく前向きに！必要とされ大切にされる人になる 株式会社 ドリームワークス 代表取締役社長 山内 喜代美 ふくい女性活躍支援センターの利用法 ふくい女性活躍支援センター 就職支援指導員 広瀬 敏一
11月9日（金）	鯖江市嚮陽会館	女性のための再就職支援セミナー ふくい女性活躍支援センターの利用法 ふくい女性活躍支援センター 就職支援指導員 広瀬 敏一 ハローワークたけふ管内の雇用失業情勢 ハローワークたけふ 就職促進指導官 黒瀬 竜夫 今後の暮らしにかかる支出と働くことの意義 ファイナンシャルプランナーCFP 万久 弘子 面接に役立つ職務経歴書の作成方法 ハローワークたけふ 就職支援ナビゲーター 四方 初美 鯖江市の就職支援について 鯖江市産業環境部商工政策課商工振興グループ 主事 山口 ひかり
2月15日（金）	ハート・フル・たけふ（越前市福祉健康センター）	女性のための再就職支援セミナー ふくい女性活躍支援センターの利用法 ふくい女性活躍支援センター 就職支援指導員 広瀬 敏一 ハローワークたけふ管内の雇用失業情勢 ハローワークたけふ 就職促進指導官 黒瀬 竜夫 今後の暮らしにかかる支出と働くことの意義 ファイナンシャルプランナーCFP 万久 弘子 面接に役立つ職務経歴書の作成方法 ハローワークたけふ 就職支援ナビゲーター 四方 初美 ポリテクの職業訓練 ポリテクセンター福井 所長 柿谷 智子 越前市の就職支援について 越前市産業政策課 主事 友国 麻里 越前市男女共同参画室 課長 平沢 登姿恵

④ 企業における女性活躍推進コース

1	キャリア・アカデミー	企業の中でリーダーとして活躍できる女性人材を育成するため、資質や意欲を向上できる機会を提供し支援する。	
開催日	会場	テーマ・講師	
8月29日（水）	生活学習館	リーダーの才能に目覚めよう！ 自分の強みを知って私らしいリーダーになる！ ～チームを活かすリーダーシップスタイルの確立～ 米国G a l l u p 認定ストレングス・コーチ 国際コーチ連盟認定プロフェッショナル サーティファイドコーチ 杉嶋 奈津子	
8月30日（木）	〃	リーダーの才能に目覚めよう！ 自分の強みを知って私らしいリーダーになる！ ～チームを活かすリーダーシップスタイルの確立～ 米国G a l l u p 認定ストレングス・コーチ 国際コーチ連盟認定プロフェッショナル サーティファイドコーチ 杉嶋 奈津子	
9月11日（火）	〃	女性リーダー・管理職のためのステップアップ！ 次代をリードするリーダーになる！ ～部下の能力を引き出してチーム力UP～ 株式会社 W o o m a x 代表取締役 竹之内 幸子	
9月12日（水）	〃	女性リーダー・管理職のためのステップアップ！ 次代をリードするリーダーになる！ ～部下の能力を引き出してチーム力UP～ 株式会社 W o o m a x 代表取締役 竹之内 幸子	

2	管理職のための女性人材育成セミナー	企業で働く女性たちが存分に能力を発揮して活躍できるよう、管理職を対象に、正しいマネジメントスキルを身に付ける機会を提供する。	
開催日	会場	テーマ・講師	
8月10日（金）	生活学習館	女性社員の成長と企業の発展と促進！ 管理職のためのダイバーシティ・マネジメントセミナー 株式会社キャリアネットワーク 常務取締役 清家 三佳子	
3月1日（金）	〃	女性社員の活躍と企業の発展と促進！ 管理職のための「仕事」と「子育て・介護」の 両立支援マネジメントセミナー 株式会社キャリアネットワーク 人材開発コンサルタント 墓田 薫	

3	企業連携講座	企業が、社員を対象として、働き方の改革や女性人材の活躍支援を図るための研修を行う場合に、講師を派遣し支援する。
開催日	主催者	テーマ・講師
6月5日（火）	山耕株式会社	笑顔で印象アップおもてなし研修 マナーコンサルティング ことは理 榎谷 真澄
7月7日（土）	西田建設株式会社	ハラスメント防止研修 中村まゆみ社会保険労務士事務所アソシエ メンタルオフィス 代表 中村 まゆみ
9月5日（水）	株式会社サンライフ 小野谷	ヨガを活用した心身の健康づくり ヨガインストラクター 吉田 綾
9月29日（土）	川崎物流株式会社	ハラスメント防止研修 中村まゆみ社会保険労務士事務所アソシエ メンタルオフィス 代表 中村 まゆみ
10月20日（土）	株式会社ネスティ	男女ともに元気で長く働くための健康づくり 株式会社 スタジオユウ 代表取締役 福田 裕子
10月30日（火）	特別養護老人ホーム あさくら苑	コーチング研修 入門編 銀座コーチングスクール福井校 松川 覚結美

⑤ 男性の家事・育児参画コース

1	カップル応援講座	夫婦が、家事や育児を対等に協力し合う家庭を築き、二人で幸せになる将来設計を描くことができるよう、考え学ぶ機会を提供する。
開催日	会場	テーマ・講師
3月9日（土）	生活学習館	“楽しく暮らす！”をふたりでコーディネート。 笑顔の記録から満足いっぱい将来まで♪ NPO法人 t a d a i m a ! 代表 家事シェア研究家 三木 智有 写真家 フォトスタジオTOL代表 E i t o M a r s

2	新米パパ・ママ応援講座	子育て中の夫婦が、協力して家事・育児を行うとともに、楽しんで子育てを続けることができるよう、スキルや知識を身に付ける機会を提供する。
開催日	会場	テーマ・講師
10月27日（土）	御食国若狭おばま 食文化館	家族でハピネスチャージ！家事をゆるっとやってみよう☆ 話してリラックス！作ってモグモグ！編 父親子育て応援団おっとふあーざー mi a k a r i y o g a r o o m 藤内 いづみ
11月23日（金）	生活学習館	家族でハピネスチャージ！家事をゆるっとやってみよう☆ 遊んで楽しく家事シェア☆編 福井友の会 ちやがちやがゲームズ

2 女性活躍支援センター事業 再就職支援セミナー

開催日	会場	テーマ・講師
9月4日（火）	生活学習館	①保育園等の申込から入園までの流れ 福井市子育て支援室 荒川 浩平 ②会社PR：会社概要、女性や子育て中の方が働きやすい取り組み 募集求人等説明 株式会社アイル、アクサ生命保険株式会社、株式会社エクシート SCSKサービスウェア株式会社、社会福祉法人新清会 有限会社ダイケイ、福井信用金庫、社会福祉法人町屋福祉会 ③交流会：各企業の方が参加者のテーブルをまわり、自由に質疑応答 ④企業面接会（個別）
9月5日（水）	〃	①仕事と子育ての両立について 福井佼成幼稚園 大柳世津子 ②会社PR：会社概要、女性や子育て中の方が働きやすい取り組み 社会福祉法人足羽福祉会、クラシス株式会社、社会福祉法人光道園 太陽生命保険株式会社、バケットデス、ランドセル専門店イクラボ フォワードシステム株式会社 ③交流会：各企業の方が参加者のテーブルをまわり、自由に質疑応答 ④企業面接会（個別）
2月1日（金）	〃	①会社PR：会社概要、女性や子育て中の方が働きやすい取り組み 募集求人等説明 社会福祉法人光道園、株式会社米五、日華化学株式会社、株式会社福井銀行 税理士法人日本綜研、福井県民生活協同組合、富国生命保険相互会社 株式会社ホームセンターみつわ、前田電気株式会社、株式会社松川レピヤン 株式会社L I F U L L b i z a s、株式会社L I F U L L F a M ②交流会：各企業の方が参加者のテーブルをまわり、自由に質疑応答 ③企業面接会（個別）

3 ふくいきらめきフェスティバル開催事業

ふくいきらめきフェスティバル2018		
開催日	会場	内容
6月23日（土）	生活学習館	記念講演：「ともに担うアナタの心に届けたい！伝え方のキホン」 講師：音声表現コンサルタント・ナレーター 松本 和也 ワークショップ：あなたらしく自分らしく みんなで考える 「共家事・共育児」「性の多様性」 手をつないで仲良し撮影会、永平寺門前まちあるき 他

(2) 生涯学習推進事業

1 指導者の養成事業

1 社会教育・生涯学習指導者研修		
開催日	会 場	テーマ・講師
11月2日(金)	生活学習館	ぜひ知っておきたい！仕事に役立つ著作権 一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会(ACCS) 事務局長 中川 文憲

2 福井ライフ・アカデミー事業

(1) 主催事業

① ふるさと未来講座

1 歴史		
開催日	会 場	テーマ・講師
5月13日(日)	生活学習館	福井藩に招聘された熊本藩士・横井小楠 ー150年前、日本の進路を大胆に指し示した男！ 作家 小島 英記
7月14日(土)	〃	幕末の雄藩 越前と薩摩 明治大学文学部 教授 落合 弘樹
9月9日(日)	〃	笠原良策と緒方洪庵 ー牛痘種痘事業への取り組みー 大阪大学大学院文学研究科 教授 村田 路人
10月27日(土)	若狭図書 学習センター	Back to 1518, A.D. ー500年前の小浜港町を歩くー 小浜市文化課 主幹(政策専門員) 下仲 隆浩
11月24日(土)	〃	勤王の先覚 梅田雲浜 梅田雲浜資料保存会代表 梅田 昌彦

2 経済・産業

開催日	会 場	テーマ・講師
1月17日(木)	生活学習館	ロボット技術で健康長寿を支えよう！ 福井工業大学 工学部 機械工学科 准教授 原口 真
1月25日(金)	〃	福井県経済の現状と今後の課題 日本銀行 福井事務所 所長 小泉 達哉
3月27日(水)	原子力の科学館 「あっとほうむ」 他	自然のちからを感じよう！ 原子力の科学館「あっとほうむ」・中池見人と自然のふれあいの里

3 自然科学		
開催日	会 場	テーマ・講師
6月3日（日）	若狭図書 学習センター	「ところ富士」の誕生 福井大学 教育学部 教授 門井 直哉
1月13日（日）	〃	恐竜はどんな動物か？ 京都市青少年科学センター 所長 瀬戸口 烈司
1月27日（日）	生活学習館	天気予報をもっと身近に ～身の安全を守るために必要なこと～ 気象予報士・防災士 二村 千津子
2月16日（土）	〃	多様な命つながる九頭竜川へ ～サクラマスを指標種として豊かな生態系を未来に～ サクラマスレストレーション 代表 安田 龍司
3月27日（水）	原子力の科学館 「あっとほうむ」 他	自然のちからを感じよう！ 原子力の科学館「あっとほうむ」・中池見人と自然のふれあいの里

4 芸術・文化		
開催日	会 場	テーマ・講師
10月31日（水）	生活学習館	ブックディレクターの仕事と本の楽しみ方 有限会社BACH 代表 幅 允孝
11月23日（金）	〃	知られざる越前和紙の世界 ～建築やアートに生きる越前和紙～ 株式会社杉原商店 代表取締役 杉原 吉直
12月5日（水）	〃	アートのちから 熊川宿若狭美術館 館長 長谷 光城

5 現代社会		
開催日	会 場	テーマ・講師
5月20日（日）	若狭図書 学習センター	みんなで解りあう発達障害 福井県発達障害児者支援センター スクラム福井 発達障害者地域支援マネージャー 福田 志保子
11月11日（日）	〃	認知症って「こわい」ものなの？ ～認知症を知り、その人を支えるために～ 医療法人 敦賀温泉病院 介護老人保健施設 ゆなみ リハビリテーション科 主任 寺川 智浩
12月18日（火）	生活学習館	災害時の食事 ～心に潤いを与えるにぎり寿司～ 福井大学 教育学部 教授 水沢 利栄
2月27日（水）	〃	ペットブームから見える日本家族の“リアル” 中央大学 文学部 教授 山田 昌弘
3月7日（木）	〃	社会心理学から見た都道府県幸福度ランキング1位福井県 神奈川大学 人間科学部 教授 杉山 崇

6 地域づくり		
開催日	会 場	テーマ・講師等
7月31日（火）	生活学習館	地域を存続させるために ～小原ECOプロジェクトの取り組みから～ 小原ECOプロジェクト 代表 國吉 一實
11月8日（木）	〃	高校生レストランの奇跡から学ぶ！ ～まちの宝で輝く地域へ～ 一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 代表理事 岸川 政之
11月25日（日）	若狭図書 学習センター	まちの大人たちはあやしくて魅力的な若者たちを「信じる」ことができるだろうか 株式会社NEWYOUTH代表取締役 慶応大学特任准教授 若新 雄純
11月30日（金）	生活学習館	地域の財産を活かす 一般社団法人三國會所 理事長 大和 久米登
12月16日（日）	若狭図書 学習センター	ものづくり、まちづくり、ひとづくり 合同会社TSUGI代表 デザインディレクター 新山 直広

② 「ふるさと力」サポート講座

生活学習館を拠点に開催		
1 第1期		
開催日	会 場	テーマ・講師
5月8日（火）	生活学習館	地域の魅力を発掘し・培い・伝えるまちづくりのはじめ方と進め方 福井大学国際地域学部 講師 田中 志敬
5月17日（木）	大野市乾側公民館	魅せるまちづくりのポイント① シバザクラの里実行委員会 会長 奥村 健治 福井大学国際地域学部 講師 田中 志敬
〃	〃	魅せるまちづくりのポイント② 福井大学国際地域学部 講師 田中 志敬
5月31日（木）	生活学習館	魅せるまちづくりに向けて① 福井大学国際地域学部 講師 田中 志敬
〃	〃	魅せるまちづくりに向けて② 福井大学国際地域学部 講師 田中 志敬

2 第2期		
開催日	会 場	テーマ・講師
7月31日（火）	生活学習館	地域の再生と魅力創造に向けた切り口と道具（基礎編） 福井県立大学 講師 江川 誠一
8月22日（水）	勝山市 北谷町小原	地域の魅力を引き出すには① 小原ECOプロジェクト 代表 國吉 一實 福井工業大学工学部 教授 多米 淑人 福井県立大学 講師 江川 誠一
〃	〃	地域の魅力を引き出すには② 小原ECOプロジェクト 代表 國吉 一實 福井工業大学工学部 教授 多米 淑人 福井県立大学 講師 江川 誠一
8月28日（火）	生活学習館	地域の再生と魅力創造に向けた切り口と道具（応用編） 福井県立大学 講師 江川 誠一
〃	〃	地域の再生と魅力創造に向けた切り口と道具（実践編） 福井県立大学 講師 江川 誠一
3 第3期		
開催日	会 場	テーマ・講師
12月4日（火）	生活学習館	空き家の多様な活用事例 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一
12月6日（木）	永平寺町 カフェトリコ	空き家活用やまちづくりに学ぶ① 古民家カフェチョット 創業者 酒井 和美 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一
〃	大野市 ピナッツハウス楽花生	空き家活用やまちづくりに学ぶ② ピナッツハウス楽花生 オーナー 廣瀬 妙子 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一
〃	〃	現地学習から見てきたこと 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一
12月11日（火）	生活学習館	イメージから始めよう！空き家の再生術 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一

若狭図書学習センターを拠点に開催		
1 第1期		
開催日	会 場	テーマ・講師
12月9日（日）	若狭図書 学習センター	防災の一步・二歩・三歩 福井工業高等専門学校 環境都市工学科 講師 江本 晃美
12月14日（土）	〃	防災の実践 - Only One持ち出し袋 - 福井工業高等専門学校 環境都市工学科 講師 江本 晃美
〃	〃	防災の実践 - クロス・ゲーム - 福井工業高等専門学校 環境都市工学科 講師 江本 晃美
1月18日（金）	〃	防災の実践 - ハザードマップの活用 - 福井工業高等専門学校 環境都市工学科 講師 江本 晃美
〃	〃	防災の実践 - 防災訓練～避難所開設 - 福井工業高等専門学校 環境都市工学科 講師 江本 晃美

2 第2期		
開催日	会 場	テーマ・講師
2月16日（土）	おおい町名田庄 かやぶき民家	古民家を知る - 地域景観 - 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一
〃	〃	古民家を直す - 建築家の視点から - 一般社団法人古民家再生協会福井若狭 代表理事 森本 真弘 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一
2月23日（土）	おおい町川上 伝右衛門	古民家に集う - 活用のアイディア - 里山ねっこ/NPO法人森林楽校・森んこ 代表 萩原 茂男 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一
3月10日（日）	おおい町名田庄 かやぶき民家	古民家に住む - 住んで想う - 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一
〃	〃	県内の古民家活用の事例から考える 福井県立大学地域経済研究所 講師 江川 誠一

③ ゆうあいシアター

1 ゆうあいシアター		
開催日	会場	内 容
4月20日（金） 4月21日（土）	生活学習館	「さくら 夢よ、咲け。」
6月29日（金） 6月30日（土）	〃	「風のように 光のように 明君松平春嶽の生涯」
8月3日（金） 8月4日（土）	〃	夏休み こどもシアター 「月とあざらし」「あらいぐまラスカル」「きずだらけのりんご」 「殿さまの茶わん」「ピーターパンの冒険」「こぎつねのおくりもの」
10月5日（金） 10月6日（土）	〃	「ゆずり葉の頃」
12月22日（土） 12月23日（日）	〃	冬休み こどもシアター 「チャーリィとこぐまのミモ」「トムとジェリー」 「山古志村のマリと三匹の子犬」
2月9日（土） 2月10日（日）	〃	「Mayu（まゆ）～ココロの星～」

(2) 共催事業

1 共催講座			
市 町	開催日	会 場	テーマ・講師
福井市	7月3日(火)	アオッサ	福井の良さを知ること まもること そして育てること 仁愛女子短期大学 教授 西畑 敏秀
	11月7日(水)	〃	我が国と福井県の環境 ～環境問題のうそ・ほんと～ 福井工業大学 准教授 辰巳 佳次
	11月14日(水)	〃	「音楽の泉」 PartⅢ～心のマッサージ～ フルート・オカリナ&ピアノとともに ララの会 主宰 浅川 由美
	12月1日(土)	〃	生態系の変化から探る越前・若狭の海 福井県立大学 教授 富永 修
敦賀市	10月20日(土)	敦賀市生涯学習センター	大きな〇(まる)の子育て～自己肯定感を高める ために～ カウンセリングドーム・カシオペア 主宰 鈴木 るみ子
	11月17日(土)	〃	子どもが幸福に育つためのこころよいかかわり かた カウンセラー 川村 信治
小浜市	6月16日(土)	小浜市中央公民館	初夏の幻想 ホテルの秘密 福井県ホテルの会 顧問 草桶 秀夫
	1月19日(土)	〃	心のいきいき健康講座 ～ストレスをためない生き方をしよう～ 敦賀市立看護大学 教授 長井 麻希江
大野市	7月19日(木)	学びの里「めいりん」	睡眠と健康～良質な眠りとは～ 福井医療短期大学 教授 藤本 ひとみ
	8月22日(水)	〃	食のちからを育てよう ～健康を意識した食品選び～ 仁愛大学 准教授 浦本 裕美
	12月20日(木)	〃	心も体も元気に、健康に 福井県立すこやかシルバー病院 作業療法士 松間 香織
勝山市	7月8日(日)	勝山市教育会館	親子で科学実験教室 丸岡南中学校 教諭 月僧 秀弥
	8月7日(火)	〃	認知症の基礎知識と対応のポイント 福井県立すこやかシルバー病院 看護部長 高嶋 康子
	9月4日(火)	〃	越前民家の仏間にみる真宗念仏と住まい 福井工業大学 教授 市川 秀和
	11月10日(土)	〃	親子でおもちゃ作り体験 福井工業高等専門学校 教授 芳賀 正和

市 町	開催日	会 場	テーマ・講師
鯖江市	5月13日（日）	市民ホールつつじ	医師でも間違えるくすりの常識 「ボケた！」と思っても5割は別の病気 福井大学医学部 講師 小淵 岳恒
	6月10日（日）	〃	怪我を防止するためのストレッチング（実技指導） 福井医療大学 講師 東 伸英
	7月8日（日）	〃	越前国の歴史～古代北陸道を考える～ 福井大学教育学部 教授 門井 直哉
	9月9日（日）	〃	近世・明治期の地域産業と福井の誇り 福井県立大学 教授 南保 勝
あわら市	7月9日（月）	あわら市湯のまち公民館	環境問題のうそ・ほんと 福井工業大学 准教授 辰巳 佳次
	8月25日（土）	あわら市民文化研修センター	安東の母 お町さんー道官咲子の生涯ー NPO法人 歴町センター大聖寺 篠原 隆一
越前市	8月9日（木）	越前市社会福祉センター	親子で魚をさばき、美味しく食べよう！ 仁愛大学 准教授 佐藤 真実
	9月13日（木）	越前市中央図書館	宇宙からみる「ふるさと福井」 ～何が見える？何が解る？～ 福井工業大学 教授 青山 隆司
	12月8日（土）	越前市福祉健康センター ハート・フル・たけふ	絵図に描かれた越前ー越前市を中心にー 北陸高等学校 講師 海道 静香
	12月15日（土）	〃	地方圏の時代 ～地域再生のためのポイントを考える～ 福井県立大学 教授 南保 勝
坂井市	5月19日（土）	高棕コミュニティセンター	顔の秘密、顔が元気！心が元気！ 顔学インストラクター 前田 紘一
	7月21日（土）	みくに市民センター	元気と病気のステキな関係 ～人生100年時代の健幸学～ おおい町国保名田庄診療所 所長 中村 伸一
	9月1日（土）	高棕コミュニティセンター	越前国の歴史 ～古代北陸道から考える～ 福井大学 教授 門井 直哉
	12月15日（土）	高棕コミュニティセンター	気象からみた ふるさとふくい環境 福井大学 准教授 三浦 麻
永平寺町	7月26日（木）	永平寺開発センター	心も身体も元気に、健康に 福井県立すこやかシルバー病院 作業療法士 下口 さゆり
南越前町	6月21日（木）	南条文化会館	高齢者のこころ～幸せについて～ 仁愛大学 准教授 竹村 明子
	8月9日（木）	〃	認知症にならないための脳の体操 敦賀市立看護大学 助教 中堀 伸枝
越前町	6月30日（土）	越前町生涯学習センター	「こころ」と「からだ」のセルフケア ～絵本を通して実感しよう～ 仁愛大学 准教授 吉水 ちひろ

市 町	開催日	会 場	テーマ・講師
美浜町	11月3日（土）	美浜町保健福祉センター はあとぴあ	ラグーンの寺々～古代海上交通と古代寺院～ 名古屋大学大学院 准教授 梶原 義実
	11月3日（土）	〃	興道寺廃寺と三方郡家 福井大学教育学部 教授 門井 直哉
	11月21日（水）	美浜町生涯学習センター なびあす	睡眠と健康～良質な眠りとは～ 福井医療短期大学 教授 藤本 ひとみ
高浜町	11月25日（日）	高浜公民館	洋楽で英語を学ぼう 仁愛女子短期大学 准教授 野本 尚美
若狭町	1月25日（金）	若狭町中央公民館リブラ 若狭	楽しく美味しく食べ続けるために ～飲み込む機能の維持・向上について～ 福井医療短期大学 助教 保屋野 健悟
	2月8日（金）	〃	睡眠と健康～良質な眠りとは～ 福井医療短期大学 教授 藤本 ひとみ
	2月21日（木）	〃	転倒予防対策について 福井医療大学 教授 藤本 昭

（３）福井ライフ・アカデミー講座等実施状況（講座数、受講者数）

	主催講座	共催講座	連携講座	計
講座数	21(6)	15	454	490
開催回数	75(18)	40	1,885	2,000
受講者数	2,504(453)	2,007	236,408	240,919

※主催講座の（ ）は、若狭図書学習センター実施分（内数）

3 学習活動の促進事業

1 学習グループ支援	県民の自主的な学習活動を奨励するため、生活学習館や若狭図書学習センターを拠点として学習を継続している26グループに対し、練習場所や成果発表の場を提供することにより支援した。	
支援対象グループ		主たる活動拠点
悪魔の飽食福井合唱団 イリアの会 NPO法人 福井県スペイン語研究会 コーラス華（HANA） 紫水会 白川文字学遊愛会 全日本写真連盟 福井支部 陶遊 福井絵画友の会 ふくいコカリナアンサンブル みどり会囲碁クラブ 煉戯窓		生活学習館
ミュージックフレンズ 若狭読書会		若狭歌人集会 若狭図書学習センター

4 映像ライブラリー事業

事業名	内 容
視聴覚機器、教材の整備および貸出し	視聴覚機器やビデオ・DVDなどの視聴覚教材を整備し活用するとともに、公的機関や社会教育団体等へ貸出しを行った。

5 生涯学習推進期間事業

生涯学習推進期間		1 1 月 3 日の文化の日になみ、様々な分野で自主的に学習活動を継続しているグループに対し、活動の成果を発表する機会を提供して支援するとともに、広く県民に対し、生涯にわたって学習を続けることの意義を普及啓発した。
開催日	会 場	内 容
10月8日～3月3日	生活学習館	学習グループの活動紹介および作品展 イリアの会 越前陶芸村「ひいろの会」 NPO法人 福井県スペイン語研究会 NPO法人 福井県発明くふう研究会 紫水会 白川文字学遊愛会 全日本写真連盟 福井支部 陶遊 向日葵の会 福井絵画友の会 マウスdeまなぼ 遊あい俳句会 煉戯窓 福井ライフ・アカデミー主催講座開催（再掲） 「ブックディレクターの仕事と本の楽しみ方」 有限会社BACH 代表 幅 允孝
10月13日～1月6日	若狭図書学習センター	学習グループの活動紹介および作品展 地域で活動する生涯学習グループ等のステージ発表 ミュージックフレンズ 若狭歌人集会 若狭読書会

6 情報の収集・提供、相談事業

事業名	内 容
生涯学習情報ネット ワークシステムの運営	県・市町や関係機関・団体等が主催する講座・催し物情報のほか、生涯学習関連の施設情報、視聴覚教材・図書情報、講師情報などをオンラインで提供する「福井県生涯学習情報ネットワークシステム（愛称：まなびいネットふくい）」を通年で運営し、県民の生涯学習環境の向上に寄与した。
生涯学習相談員の配置	多様化、高度化する県民の生涯学習ニーズに対応するため、生涯学習に関する情報や助言を提供できる生涯学習相談員2名を配置した。
青少年教育テレビ放送事業 「キラリ！福井っ子」の放送	青少年の健全育成と家庭教育の振興をめざし、親と子が語り合える機会を提供するため、青少年の実態や活躍を取り上げた15分間のテレビ番組の制作と放送を福井テレビジョン放送（株）に委託し、9月から3月にかけて計12回放映した。
「学びの道しるべ」の発行	生活学習館の機能や事業実施状況などを広く県民に周知し、生活学習館に対する理解や協力を得るため、機関広報誌「学びの道しるべ」を6月、10月、1月に各3,500部発行した。（123号～125号）
「福井ライフ・アカデミー ニュース」の発行	生涯学習関連情報が広く県民に提供され、貴重な学習機会が有効に活用されるよう、主催、共催、連携事業の開催予定を掲載した情報誌「福井ライフ・アカデミーニュース」を毎月1,400部ずつ発行した。
ホームページの運営	生活学習館が主催、または委託して実施する男女共同参画・女性活躍推進事業や生涯学習推進事業、その他の事業に関する情報のほか、施設予約に関する情報等を掲載したホームページを運営した。

4 施設利用状況（平成30年4月～平成31年3月）

（1）施設別利用状況

（単位：件、人）

	主催事業		貸館事業		合 計	
	件 数	参加者数	件 数	利用者数	件 数	利用者数
学習室 101	59	471	415	8,678	474	9,149
学習室 102	59	465	348	6,961	407	7,426
学習室 301	29	198	390	5,915	419	6,113
学習室 302	28	189	311	4,866	339	5,055
学習室 303	12	65	246	3,181	258	3,246
学習室 B1	0	0	247	5,540	247	5,540
学習室 B1-2	0	0	126	1,579	126	1,579
学習室 B1-3	0	0	184	2,171	184	2,171
和 室 A	10	26	151	2,195	161	2,221
和 室 B	10	25	132	2,152	142	2,177
茶 室	6	8	56	151	62	159
ミーティングルームA	0	0	211	1,404	211	1,404
ミーティングルームB	0	0	80	471	80	471
ミーティングルームC	0	0	89	565	89	565
ミーティングルームD	0	0	127	815	127	815
ミーティングルームE	3	24	114	640	117	664
映像ホール	58	1,734	160	7,981	218	9,715
学習室304 縁結び交流室	2	14	156	2,064	158	2,078
創作実習室	0	0	122	1,360	122	1,360
木工室	0	0	9	51	9	51
音楽練習室	0	0	170	3,595	170	3,595
調理実習室	3	22	110	1,380	113	1,402
多目的ホール	4	277	341	45,042	345	45,319
楽屋（和室）	4	6	118	568	122	574
楽屋（洋室）	4	8	206	1,154	210	1,162
フィットネスルーム	1	10	46	629	47	639
ギャラリー A	2	7	111	945	113	952
ギャラリー B	0	0	14	15	14	15
ギャラリー C	15	53	33	104	48	157
計	309	3,602	4,823	112,172	5,132	115,774
				情報ルーム	33,737	
				チャイルドルーム	431	
				女性活躍支援センター	2,086	
				女性総合相談室	1,171	
				合 計	153,199	

５ ふくい女性活躍支援センターの利用状況（H30.4.1～H31.3.31）

<利用者数>

			人数（人）	割合（％）
センター利用者数			2， 0 8 6	4 3. 1
内 訳	男 女 別	キッズコーナー	1 9 2	9. 2
		女 性	1， 7 3 0	8 2. 9
		男 性	1 6 4	7. 9
		計	2， 0 8 6	1 0 0. 0
	年 代 別	キッズコーナー	1 9 2	9. 2
		1 0～2 0歳代	2 5 0	1 2. 0
		3 0歳代	7 8 4	3 7. 6
		4 0歳代	4 7 0	2 2. 5
		5 0歳以上	3 9 0	1 8. 7
		計	2， 0 8 6	1 0 0. 0
講座等参加者			6 0 1	1 2. 4
その他（図書貸出し、見学等）			2， 1 5 3	4 4. 5
計			4， 8 4 0	1 0 0. 0

<職業紹介関係>

	件数・人数
新規求職者数	2 7 5 人
職業相談件数 (A)	7 6 5 件
職業紹介件数 (Aの内数)	1 1 0 件
就職件数 (Aの内数)	1 2 1 件

<利用者の利用目的>

		件数（件）	割合（％）
相 談		1, 5 1 5	5 5. 2
主 な 相 談 内 容	キャリアアップ	2 6	1. 7
	再就職・就業	5 6 2	3 7. 1
	転 職	2 0 3	1 3. 4
	起 業	5 1	3. 4
	保育所・子育て	1 4 7	9. 7
	労働問題・人間関係	9	0. 6
	地域活動・ボランティア	0	0. 0
	問 合 せ	5 1 0	3 3. 7
	そ の 他	7	0. 4
	計	1, 5 1 5	1 0 0. 0
情報収集		1, 2 2 9	4 4. 8
計		2, 7 4 4	1 0 0. 0

※複数の利用目的で来所される場合があるため、計は来所者数（2,086 人）とは一致しません。

6 女性総合相談・DV被害者相談の利用状況（H30.4.1～H31.3.31）

<相談者数>

				人数(人)	割合(%)	
一般相談	相談者数			1,084	92.6	
	内訳	主な相談内容	体・健康面	1	0.1	
			心・精神面	572	52.8	
			夫について	57	5.3	
			子どもについて	35	3.2	
			他の家族について	49	4.5	
			職場環境について	10	1.0	
			DV暴力被害	261	24.0	
			他の暴力被害	11	1.0	
			その他	88	8.1	
			計	1,084	100.0	
	利用形態	来館	147	13.6		
		電話	937	86.4		
計		1,084	100.0			
特別相談	法律相談	相談者数		62	5.3	
		内訳	主な相談内容	金銭問題	6	9.7
				離婚	23	37.1
				DV暴力被害	19	30.6
				他の暴力被害	0	0.0
				性被害	0	0.0
				その他	14	22.6
				計	62	100.0
		利用形態	来館	62	100.0	
			電話	0	0.0	
			計	62	100.0	
	こころの相談	相談者数		25	2.1	
		内訳	主な相談内容	心理・性・更年期等	7	28.0
				DV暴力被害	10	40.0
				他の暴力被害	0	0.0
				その他	8	32.0
				計	25	100.0
		利用形態	来館	24	96.0	
			電話	1	4.0	
			計	25	100.0	
	特別相談 計			87		
合 計			1,171	100.0		

関係機関へ繋ぎ、連携した件数（内数） 110件

<男女別内訳>

性別	人数(人)	割合(%)
女性	1,157	98.8
男性	14	1.2
計	1,171	100.0

<年代別内訳>

年代	人数(人)	割合(%)
10歳代	2	0.2
20歳代	63	5.4
30歳代	336	28.7
40歳代	331	28.2
50歳代	345	29.5
60歳代	75	6.4
70歳代	19	1.6
80歳以上	0	0.0
計	1,171	100.0

<利用形態別内訳>

形態	人数(人)	割合(%)
来館	233	19.9
電話	938	80.1
計	1,171	100.0

<配偶者等暴力被害者>

(再掲)

	人数(人)	割合(%)
一般相談	261	90.0
特別相談		
法律	19	6.6
こころ	10	3.4
計	290	100.0

7 生涯学習に関する相談等の状況（H30.4.1～H31.3.31）

<相談件数>

			件数（件）	割合（％）
相談件数			9, 1 3 2	
		個 人	2, 7 4 0	3 0. 0
		団 体	5, 9 7 6	6 5. 4
		機 関	4 1 6	4. 6
		計	9, 1 3 2	1 0 0. 0
	相談方法	来 館	3, 9 4 8	4 3. 2
		電 話（メール含）	4, 1 0 2	4 4. 9
		ファックス	7 5 8	8. 3
		郵 便	3 2 4	3. 6
		計	9, 1 3 2	1 0 0. 0
	相談内容	講 座	5, 7 7 2	6 3. 2
		施 設	3, 0 3 0	3 3. 2
		教 材	2 2 6	2. 5
		講師・指導者	1 0	0. 1
		団体・サークル	2 0	0. 2
		調査研究	0	0. 0
		その他	7 4	0. 8
		計	9, 1 3 2	1 0 0. 0

8 人材の登録状況

(1) 生涯学習リーダーバンク登録者の状況 (平成31年3月31日現在)

<登録者数>

			人数(人)	割合(%)
登録者数			108	
性別	男 性		62	57.4
	女 性		46	42.6
	計		108	100.0
年齢別	29歳以下		0	0.0
	30～49歳		6	5.6
	50～69歳		44	40.7
	70歳以上		58	53.7
	不詳		0	0.0
	計		108	100.0
居住市町別	福井市		22	20.3
	敦賀市		9	8.3
	小浜市		3	2.8
	大野市		0	0.0
	勝山市		7	6.5
	鯖江市		11	10.1
	あわら市		5	4.6
	越前市		10	9.3
	坂井市		6	5.6
	永平寺町		3	2.8
	池田町		0	0.0
	南越前町		3	2.8
	越前町		7	6.5
	美浜町		4	3.7
	高浜町		7	6.5
	おおい町		5	4.6
	若狭町		6	5.6
	計		108	100.0

<指導分野別登録者数>

	人数(人)	割合(%)
教育関係一般	15	13.4
人間・社会	7	6.2
自然科学	3	2.7
産業・技術	3	2.7
芸術・文化	31	27.6
スポーツ・レクリエーション	6	5.4
家庭生活・趣味	27	24.1
ボランティア・国際関係	5	4.5
白川文字学	15	13.4
計	112	100.0

※複数の分野で登録されている場合があるため、計は登録者数(108人)とは一致しません。

9 オンラインによる情報提供

(1) 福井県生涯学習情報ネットワークシステム (愛称「まなびいネットふくい」)



福井県内の生涯学習関連情報をだれもが、いつでも、どこでも、手軽に入手していただけるよう、インターネット上で提供するシステムです。URLは「<http://www.manabi.pref.fukui.jp/manabi/>」です。「まなびいネットふくい」で検索できます。

(パソコン版 トップ画面例)



(スマートフォン版 トップ画面例)

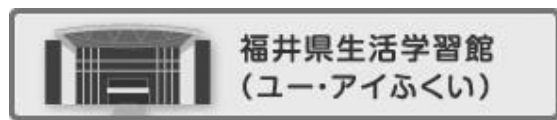


(2) メールマガジン (eマガふくい ユー・アイふくい版)

生涯学習や男女共同参画・女性活躍推進に関する講座等の情報を無料で配信しています。

登録者数 804人 (平成31年3月31日現在)

(3) 福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）サイト



各事業や貸室の利用手順などを紹介しています。各種申請書の様式をダウンロードできます。URLは「<http://www.manabi.pref.fukui.jp/you-i/>」です。「ユー・アイふくい」で検索できます。

(パソコン版 トップ画面例)



(スマートフォン版 トップ画面例)



(4) 福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）フェイスブック

福井ライフ・アカデミーが主催する生涯学習に関する講座やふくい女性財団が主催する男女共同参画・女性活躍推進に関する講座などの情報を掲載しています。



10 視聴覚教材、機器、図書（平成31年3月31日現在）

（1）映像ライブラリー保有教材（貸出可能）

分 野	VHSビデオ	16ミリフィルム	CD-ROM	DVD
教育関係一般	1,193	139	8	197
人間・社会	588	17	9	148
自然科学	101	17	3	42
産業・技術	138	18	2	44
芸術・文化	200	6	1	63
体育・スポーツ・レクリエーション	25	1	0	15
家庭生活・趣味	316	40	2	20
ボランティア・市民生活	143	15	2	35
学校教育	435	82	25	91
計	3,139	335	52	655

（2）映像ライブラリー貸出実績（平成30年度）

区 分	ビデオ	16ミリフィルム	CD-ROM	DVD
貸出件数	23	7	1	41
貸出本数	43	12	1	96
視聴者数	1,163	208	40	3,740

（3）視聴覚機材保有状況

① 教材管理室（◎は館内のみ貸出対象、○は館内・館外貸出対象）

16ミリ映写機	2台	○	OHC（書画カメラ）	1台	◎
液晶プロジェクター	3台	◎	移動用スクリーン	5台	○
16ミリフィルム自動検査機	1台		スクリーン幕	1幕	○
ビデオライブラリー	1式		ビデオプロジェクター	4台	○
オーディオライブラリー	1式		ビデオカセットプレーヤー	1台	※館外貸出のみ可能
DVDプレーヤー	2台	◎			

② 映像ホール

プロジェクター	1式	OHC（書画カメラ）	1台
VHS-VTR	1台	カセットテープレコーダー	1台
ブルーレイプレーヤー	1台	パソコン（Windows、マルチドライブ）	1台

③ 情報ルーム

ビデオブース	4卓	オーディオブース	2卓
--------	----	----------	----

(4) 情報ルーム設置視聴覚教材（個人視聴用）

① DVD、VHS

総数 426点

郷土（福井っ子はいま、ライフ・アカデミーテレビ講座）	133点
教育関係一般（生涯学習一般、青少年教育、男性・女性 他）	163点
人間・社会（歴史、経済 他）	31点
自然科学（自然科学一般、動物 他）	9点
産業・技術（産業・技術一般、観光 他）	27点
芸術・文化（芸術・文化一般、美術 他）	14点
体育・スポーツ・レクリエーション（球技）	4点
家庭生活・趣味（家庭生活・趣味一般、娯楽 他）	45点

② L D

総数 90点

自然科学（動物・植物、生物）	10点
産業・技術（産業・技術一般、交通）	2点
芸術・文化（音楽、舞踊）	33点
家庭生活・趣味（娯楽）	45点

③ C D

総数 316点

クラシック	119点
ジャズ	6点
演歌	15点
ポップス	147点
その他	29点

(5) 情報ルーム設置図書

(冊)

		男女共同参画関係図書	生涯学習関係図書
購 入	H30 新規	30	110
	H29 以前	3, 133	862
	計	3, 163	972
寄 贈	H30 新規	2	13
	H29 以前	104	934
	計	106	947
計	H30 新規	32	123
	H29 以前	3, 237	1, 796
	計	3, 269	1, 919

V 施設概要

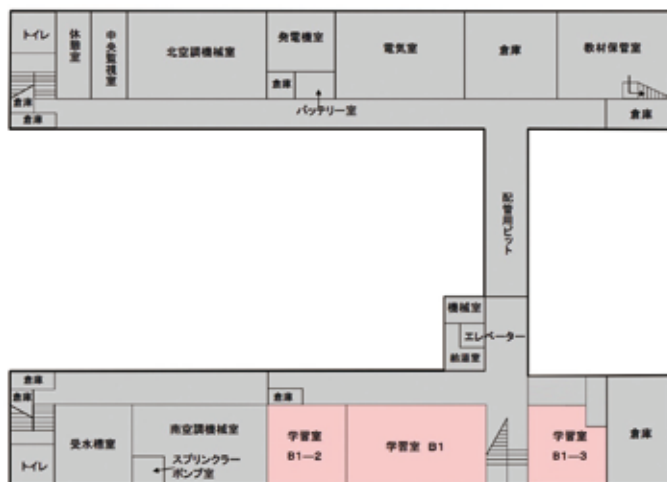
1 建築概要

敷地面積	9, 5 8 0 m ²
建築面積	3, 5 8 5. 6 4 m ²
延床面積	9, 3 2 2. 4 8 m ²
構造規模	鉄筋コンクリート造 地上3階 地下1階
建築期間	起工 平成5年10月 ～ 竣工 平成7年5月
総工事費	約53億円

2 施設配置図

B1F

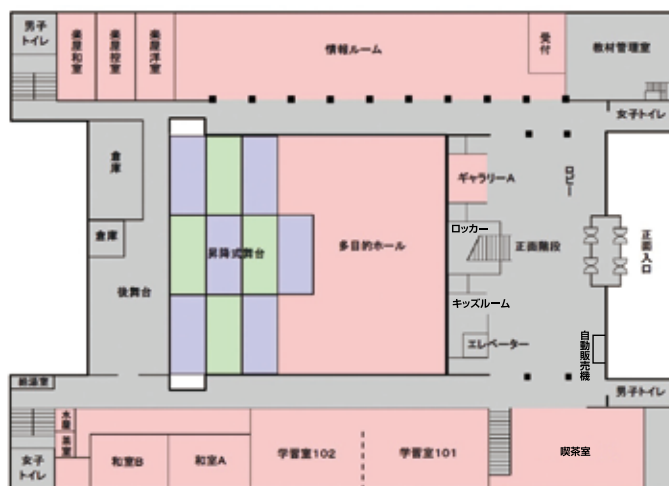
室 名	面積 (m ²)	定員 (人)
学習室B 1	114	42
学習室B 1-2	73	24
学習室B 1-3	62	24



学 習 室

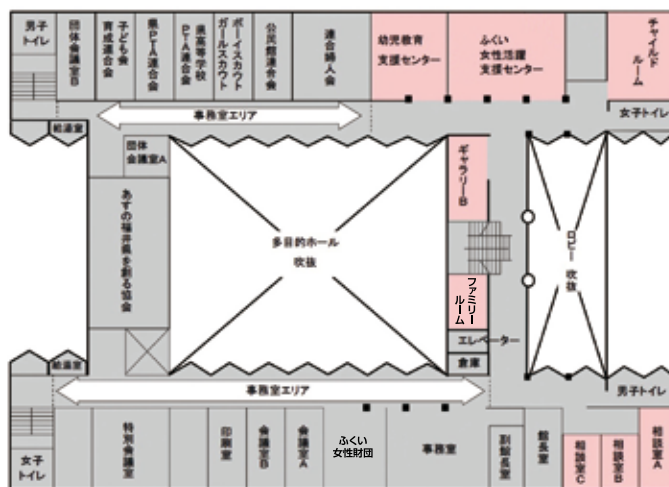
1 F

室 名	面積 (㎡)	定員 (人)
学習室101	112	42
学習室102	112	42
和室A	145	35
和室B		35
茶室		—
多目的ホール	720	700
情報ルーム	457	—
楽屋 (和室)	28	8
楽屋 (洋室)	28	9
ギャラリーA	21	—



2 F

室 名	面積 (㎡)	定員 (人)
相談室	87	—
事務室	161	—
ファミリールーム	22	—
チャイルドルーム	73	—
ふくい女性活躍支援センター	74	—
幼児教育支援センター	74	—
団体事務室	344	—
ギャラリーB	39	—



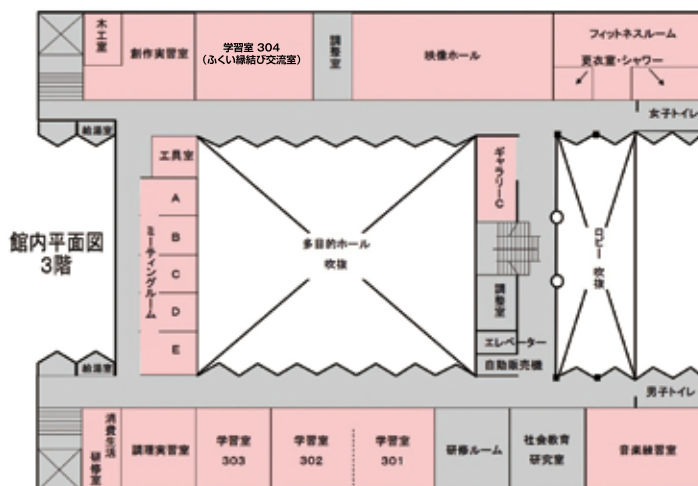
情報ルーム



チャイルドルーム

3 F

室 名	面積 (㎡)	定員 (人)
音楽練習室	109	—
学習室 301	73	30
学習室 302	75	30
学習室 303	75	24
調理実習室	75	40
消費生活研修室	39	—
フィットネスルーム	114	23
映像ホール	189	130
学習室 304 (ふくい縁結び交流室)	112	36
創作実習室	95	30
木工室	19	—
ミーティングルーム A	37	16
ミーティングルーム B	37	16
ミーティングルーム C	37	16
ミーティングルーム D	37	16
ミーティングルーム E	37	16
ギャラリー C	39	—



創 作 実 習 室



映 像 ホ ー ル



フ ィ ッ ト ネ ス ル ー ム

関 係 資 料

(1) 福井県生活学習館の設置および管理に関する条例（平成7年福井県条例第4号）

（設置）

第1条 男女が共に参画する社会の実現および県民の生涯学習の充実を図るため、福井県生活学習館（以下「生活学習館」という。）を設置する。

（位置）

第2条 生活学習館は、福井市に置く。

（業務）

第3条 生活学習館は、次に掲げる業務を行う。

- （1） 女性の自立および社会参加（以下「女性の自立等」という。）の促進ならびに生涯学習の充実を図るための講座、研修会等の開催
- （2） 女性の自立等の促進および生涯学習の充実に関する調査、研究および情報の提供
- （3） 女性の自立等の促進および生涯学習の充実に関する会議、研修等を行うために必要な施設および設備の提供
- （4） 前3号に掲げるもののほか、生活学習館の設置の目的にふさわしい業務

（職員）

第4条 生活学習館に、館長その他必要な職員を置く。

（施設等の使用の承認）

第5条 別表に掲げる生活学習館の施設または設備を使用しようとする者は、知事の承認を受けなければならない。

（使用料）

第6条 別表に掲げる生活学習館の施設または設備を使用する者は、同表に掲げる使用料を納付しなければならない。

（使用料の不還付）

第7条 既に納付した使用料は、還付しない。ただし、知事が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

（使用料の免除）

第8条 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料の全部または一部を免除することができる。

（禁止行為）

第9条 生活学習館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- （1） 生活学習館の施設または設備を損傷し、または滅失すること。
- （2） 生活学習館内の秩序または風俗を乱す行為をすること。
- （3） 知事の承認を受けないで、物品等の販売、寄附金の募集その他これらに類する行為をすること。

（監督処分）

第10条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、第5条および前条第3号の承認を取り消し、その効力を停止し、もしくはその条件を変更し、または行為の中止もしくは生活学習館を原状に回復することその他必要な措置を命ずることができる。

- （1） この条例またはこの条例に基づく規則の規定に違反している者
- （2） 第5条および前条第3号の承認に付した条件に違反している者

(3) 偽りその他不正な手段により第5条および前条第3号の承認を受けた者
(規則への委任)

第11条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成7年7月1日から施行する。

附 則

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この条例は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この条例は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

別表（第5条、第6条関係）

1 施設使用料

(単位 円)

室 名 \ 時間帯	午 前	午 後	夜 間	全 日
学習室 101	3,910	5,250	3,910	13,070
学習室 102	3,910	5,250	3,910	13,070
学習室 301	2,570	3,390	2,570	8,530
学習室 302	2,670	3,500	2,670	8,840
学習室 303	2,670	3,500	2,670	8,840
学習室 304	3,300	4,400	3,300	11,000
学習室 B1	4,010	5,350	4,010	13,370
学習室 B1-2	2,570	3,390	2,570	8,530
学習室 B1-3	2,160	2,880	2,160	7,200
和 室 A	1,950	2,570	1,950	6,470
和 室 B	1,950	2,570	1,950	6,470
茶 室	1,340	1,750	1,340	4,430
ミーティングルームA	1,340	1,750	1,340	4,430
ミーティングルームB	1,340	1,750	1,340	4,430
ミーティングルームC	1,340	1,750	1,340	4,430
ミーティングルームD	1,340	1,750	1,340	4,430
ミーティングルームE	1,340	1,750	1,340	4,430
映像ホール	7,820	10,390	7,820	26,030

(単位 円)

時間帯 室 名		午 前	午 後	夜 間	全 日
創作実習室		3,290	4,420	3,290	11,000
木 工 室		720	930	720	2,370
音楽練習室		4,420	5,970	4,420	14,810
調理実習室		2,670	3,500	2,670	8,840
消費生活研修室		1,440	1,850	1,440	4,730
多目的 ホール	平 日	25,100	33,630	25,100	83,830
	土・日曜、休日	27,570	37,030	27,570	92,170
楽屋（和室）		1,030	1,340	1,030	3,400
楽屋（洋室）		1,030	1,340	1,030	3,400
フィットネスルーム		3,910	5,350	3,910	13,170
ギャラリーA		1,440	1,850	1,440	4,730
ギャラリーB		1,440	1,850	1,440	4,730
ギャラリーC		1,440	1,850	1,440	4,730

備 考

- 「午前」とは9時から12時まで、「午後」とは13時から17時まで、「夜間」とは18時から21時まで、「全日」とは9時から21時までをいう。
- 「休日」とは国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日をいう。
- 多目的ホールの使用者が入場料を徴収する場合の使用料は、この表に定める額に次に掲げる額を加算した額とする。
 - 入場料の最高額が1,000円以上3,000円未満の場合は、この表に定める額の6割に相当する額
 - 入場料の最高額が3,000円以上5,000円未満の場合は、この表に定める額の8割に相当する額
 - 入場料の最高額が5,000円以上の場合は、この表に定める額の10割に相当する額
- 使用者が冷暖房施設を使用する場合の使用料は、この表に定める額にその1割に相当する額を加算した額とする。
- 準備、練習等のために多目的ホールを使用する場合の使用料は、この表に定める額の5割に相当する額とする。

2 設備使用料

設備名			単位	金額（単位 円）
照明装置	Aセット	ボーダーライト（2列） シーリングライト（1列） サスペンションライト（1列）	1 式	1 時間につき 1,270
	Bセット	ボーダーライト（2列） シーリングライト（1列） サスペンションライト（2列） アッパーホリゾンライト ロアーホリゾンライト	1 式	1 時間につき 3,190
	フォロースポットライト		1 台	1 時間につき 790

設備名		単位	金額（単位 円）	
音響装置	拡声装置	1 式	1 時間につき	740
	マイクロホン	1 本	1 回 3 時間以内 1 時間増すごとに	620 210
	ワイヤレスマイクロホン	1 本	1 回 3 時間以内 1 時間増すごとに	850 280
	コンパクトディスクプレイヤー	1 台	1 回 3 時間以内 1 時間増すごとに	620 210
	カセットテープレコーダー	1 台	1 回 3 時間以内 1 時間増すごとに	620 210
映像設備	スーパープロジェクター	1 式	1 時間につき	1,570
	16 ミリ映写機	1 式	1 時間につき	740
道具等	演 台	1 式	1 回 3 時間以内 1 時間増すごとに	350 110
	会議机	1 脚	1 回 3 時間以内 1 時間増すごとに	70 20
反響板		1 式	1 回 3 時間以内 1 時間増すごとに	3,080 1,020
ピアノ		1 台	1 回 3 時間以内 1 時間増すごとに	3,700 1,230
電 源		1 箇所	1 回 3 時間以内 1 時間増すごとに	350 110

備 考

- 1 利用時間に 1 時間未満の端数があるときは、1 時間として計算する。
- 2 会議机および電源の使用料は、多目的ホールを使用する場合のみ徴収する。

（２）福井県生活学習館の設置および管理に関する条例施行規則（平成 7 年福井県規則第 46 号）

（趣旨）

第 1 条 この規則は、福井県生活学習館の設置および管理に関する条例（平成 7 年福井県条例第 4 号。以下「条例」という。）第 11 条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第 2 条 福井県生活学習館（以下「生活学習館」という。）の開館時間は、午前 9 時から午後 9 時までとする。ただし、情報ルームにあっては、午前 9 時から午後 8 時までとする。

- 2 生活学習館長（以下「館長」という。）は、必要があると認めるときは、前項の開館時間を変更することができる。

（休館日）

第 3 条 生活学習館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

- （1）月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときを除く。）
- （2）第 3 日曜日
- （3）休日の翌日（土曜日、日曜日または休日に当たるときを除く。）
- （4）12 月 28 日から翌年の 1 月 4 日まで

2 館長は、必要があると認めるときは、前項の休館日を変更することができる。

(施設等の使用の承認)

第4条 条例第5条の規定により、生活学習館の施設または設備（以下「施設等」という。）の使用の承認を受けようとする者は、使用しようとする日の属する月の6月前（多目的ホールにあつては、12月前）の月の初日（その日が休館日に当たるときは、その翌日）から使用しようとする日の3日前（多目的ホールにあつては、10日前）までに福井県生活学習館使用承認申請書（様式第1号）を館長に提出しなければならない。

2 館長は、条例第5条の承認をしたときは、福井県生活学習館使用承認書（様式第2号）を交付するものとする。

(使用者の遵守事項)

第5条 施設等の使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 承認を受けた使用目的以外に施設等を使用しないこと。
- (2) 承認を受けた施設等を転貸し、または当該承認に基づく権利を譲渡しないこと。
- (3) その他生活学習館の管理上支障がある行為をしないこと。

2 使用者は、施設等の使用を終了したときは、原状に回復しなければならない。

(使用料の還付)

第6条 条例第7条ただし書の規定により、使用料を還付できる場合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 災害その他不可抗力により施設等の使用ができなくなったとき。
- (2) その他館長がやむを得ない事由があると認めるとき。

2 使用料の還付を受けようとする者は、福井県生活学習館使用料還付申請書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

(使用料の免除)

第7条 条例第8条の規定により、使用料を免除できる場合およびその免除の額は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 県が設置目的に添った事業を主催するとき 使用料に相当する額
- (2) 県が設置目的に添った事業を共催するとき 使用料の2分の1に相当する額
- (3) 国、市町または女性の自立および社会参加、社会教育もしくは生涯学習を目的とする団体で館長が認めるものが設置目的に添って使用するとき 使用料の2分の1に相当する額
- (4) その他館長が特に必要があると認めるとき 館長が必要と認める額

2 使用料の免除を受けようとする者は、福井県生活学習館使用料免除申請書（様式第4号）を館長に提出しなければならない。

(制限行為の承認申請)

第8条 条例第9条第3号の承認を受けようとする者は、福井県生活学習館内制限行為承認申請書（様式第5号）を館長に提出しなければならない。

(施設等の損傷または滅失の届出)

第9条 使用者は、施設等を損傷し、または滅失したときは、遅滞なくその旨を館長に届け出て、その指示に従わなければならない。

(その他)

第10条 この規則で定めるもののほか、生活学習館の管理および運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成7年7月1日から施行する。

<様式略>

(3) 福井県行政組織規則（昭和39年福井県規則第21号）（抜粋）

（業務）

第38条の11 生活学習館は、男女が共に参画する社会の実現および県民の生涯学習の充実を図るため、講座および研修会の開催、調査および研究ならびに施設および設備の提供に関する事務をつかさどる。

（名称および位置）

第38条の12 生活学習館の名称および位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
福井県生活学習館	福 井 市

（分課および分掌事務）

第38条の13 生活学習館に次の課を置く。

- （1） 男女参画・企画管理課
- （2） 生涯学習推進課

2 前項の各課の分掌事務は、次のとおりとする。

男女参画・企画管理課

- （1） 庶務に関すること（他の組織の所管に属するものを除く。）。
- （2） 生活学習館の企画運営に関すること。
- （3） 生活学習館の施設および設備の管理運営および利用に関すること。
- （4） 相談事業に関すること（他課の所管に属するものを除く。）。
- （5） 生涯学習情報ネットワークシステムの開発および運営に関すること。
- （6） 男女が共に参画する社会づくりに関する指導者の養成に関すること。
- （7） 男女が共に参画する社会づくりに関する講座、研修、調査および研究に関すること。
- （8） 男女が共に参画する社会づくりに関する情報の収集および提供に関すること。
- （9） 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の規定に基づく配偶者からの暴力による被害者の相談および支援に関すること（被害者の一時保護に係るものを除く。）。
- （10） ふくい女性活躍支援センターに関すること。

生涯学習推進課

- （1） 生涯学習に関する総合企画に関すること。
- （2） 生涯学習に関する連絡および調整に関すること。

（４）福井県教育委員会行政組織規則（昭和４６年福井県教育委員会規則第５号）（抜粋）

（設置、名称等）

第13条 出先機関として、生涯学習センターを置く。

名 称	位 置	所管区域
福井県教育庁生涯学習センター	福 井 市	県下全域

（生涯学習センターの所掌事務）

第14条の２ 生涯学習センターの所掌事務は、次のとおりとする。

- （１） 生涯学習の指導者養成に関すること。
 - （２） 生涯学習の講座および研修の開催ならびに調査、研究および相談に関すること。
 - （３） 生涯学習についての情報収集および提供に関すること。
 - （４） 社会教育の講座および研修の開催に関すること。
 - （５） 福井県映像ライブラリーの運営に関すること。
- ２ 生涯学習センターの支所として、小浜市に福井県立若狭図書学習センターを置く。
 - ３ 若狭図書学習センターの分掌事務は、第１項各号に掲げる事務のほか、第22条第２項第１号から第7号までに掲げる事務とする。
 - ４ 生涯学習センターおよび若狭図書学習センターに映像ライブラリーを置く。
 - ５ 映像ライブラリーの業務は、次のとおりとする。
 - （１） 視聴覚教育の教材教具の制作および一般の利用に関すること。
 - （２） 教材等の調査および研究に関すること。
 - （３） 地域ライブラリーの連絡調整に関すること。

（５）福井県映像ライブラリー備付教具教材使用規則（昭和３２年福井県教育委員会規則第６号）

（目的）

第1条 福井県映像ライブラリー（以下「ライブラリー」という。）備付けの教具教材（以下「教具教材」という。）の使用に関する借用手続、技術検定その他必要な事項については、条例その他別に定めのある場合を除くほか、この規則の定めるところによる。

（貸与）

第2条 福井県教育委員会（以下「委員会」という。）は、教育的または文化的目的のために教具教材を使用しようとするときに、これを貸与する。ただし、次の各号の一に該当するときは、この限りではない。

- （１） 営利を目的としていると認められるとき。
- （２） 特定の政党または宗派の宣伝に使用されると認められるとき。
- （３） その他委員会において貸与を不適當と認めたとき。

（借用手続）

第3条 教具教材の貸与を受けようとするときは、ライブラリーに対し別記様式第１号による教具教材借用申請書を提出しなければならない。

（転貸禁止）

第4条 貸与を受けた教具教材は、転貸してはならない。

（返還）

第5条 貸与を受けた教具教材は、借用期間内に必ず返還しなければならない。

（事故報告）

第6条 貸与を受けた教具教材について、亡失、き損その他の事故が生じたときは、すみやかにその旨を委員会に報告して、その指示を受けなければならない。

（損害賠償）

第7条 教具教材について、亡失、き損その他の事故により損害を生じたときは、その損害を賠償しなければならない。

（映写機の登録）

第8条 貸与を受けた16ミリ映画フィルムを映写する映写機は、委員会の登録を受けたものでなければならない。

(映写機の登録手続)

第9条 前条の登録を受けようとするものは、別記様式第2号による映写機登録申請書を提出しなければならない。

2 委員会は、前項の登録申請を受けた映写機を検定の上、ライブラリーに登録し、別記様式第3号による映写機登録証を交付する。

(映写機の検査)

第10条 委員会は、登録を受けた映写機について、毎年定期に検査を行う。ただし、必要があると認めるときは、臨時に行うことがある。

(映写機登録の取消)

第11条 委員会は、前条の検査を受けなかった映写機または検査に合格しなかった映写機の登録を取り消すことがある。

(映写機操作の免許)

第12条 貸与を受けた16ミリ映画フィルムを映写する者は、委員会の免許を受けた者でなければならない。

(講習および検定)

第13条 委員会は、16ミリ映写技術講習において全課程を受講し、かつ、所定の検定に合格した者に対し、16ミリ映写機操作の免許を与え、別記様式第4号による免許証を交付する。

2 前項の講習および検定は、次の表に掲げる学科および実技について行うものとする。

学 科	実 技
視聴覚教育に関する知識	16ミリ映写機の操作
16ミリ映写機の構造に関する知識	16ミリ映写機の調整
16ミリ映写機の操作に必要な電気に関する知識	16ミリ映画フィルムの取扱および補修
その他の教具教材に関する知識	

(免許証の記載事項の変更の届出)

第14条 免許証の記載事項に変更を生じたときは、免許証を添えて委員会に届け出なければならない。

(免許証の再交付)

第15条 免許証を破り、汚し、または失ったときは、委員会に再交付を申請することができる。

(使用報告)

第16条 貸与を受けた16ミリ映画フィルムは、返還の際、別記様式第5号による使用報告書を委員会に提出しなければならない。

附 則

この条例は、平成7年7月1日から施行する。

附 則

この条例は、平成9年4月1日から施行する。

<様式略>

(6) 福井ライフ・アカデミー設置要綱

(設置)

第1条 県民の学習需要の多様化・高度化に応え、いつでも、どこでも、だれでも、なんでも、生涯にわたって学習することができるよう、学習機会・内容を整理・体系化し、提供することを目的として福井ライフ・アカデミー（以下「アカデミー」という。）を設置する。

(事業内容)

第2条 アカデミーは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 講演・講座・セミナー等の実施に関すること。
- (2) 情報の収集・提供および広報活動に関すること。
- (3) その他

(構成)

第3条 アカデミーは、福井ライフ・アカデミー本部（以下「本部」という。）および講演、講座、セミナー等を共催または連携で実施する機関で構成する。

(本部)

第4条 本部は、アカデミーの事業を総合調整し、実施する。

(組織)

第5条 本部に、学長および副学長を置く。

- 2 学長は、知事をもって充てる。
- 3 副学長は、教育長および総合政策部長をもって充てる。

(学長および副学長)

第6条 学長は、アカデミーを統括し代表する。

- 2 副学長は、学長を補佐し学長に事故あるときは、その職務を代理する。

(運営委員会)

第7条 アカデミーの事業運営に関する事項を協議するため、福井ライフ・アカデミー運営委員会を開催する。

- 2 運営委員会の開催に関する事項は別に定める。

(事務局)

第8条 本部に、事務局長、事務局次長および事務局員を置く。

- 2 事務局長は、福井県生涯学習センター所長をもって充てる。
- 3 事務局次長は、福井県生涯学習センター次長をもって充てる。
- 4 事務局員は、福井県生涯学習センター職員および福井県若狭図書学習センター職員をもって充てる。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、アカデミーの運営に関し必要な事項は本部が定める。

附 則

この要綱は、平成4年7月1日から施行する。

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

この要綱は、平成27年5月19日から施行する。

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

(7) 福井ライフ・アカデミー事業実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、福井ライフ・アカデミー設置要綱に基づき、福井ライフ・アカデミーの事業実施について、必要な事項を定める。

(事業の区分)

第2条 事業は、実施主体により主催事業、共催事業および連携事業に区分する。

- (1) 主催事業とは、福井ライフ・アカデミー本部（以下「本部」という。）が企画、運営にあたるものをいう。
- (2) 共催事業とは、「福井ライフ・アカデミー共催講座実施要領」に基づき本部と市町が実施する事業をいう。
- (3) 連携事業とは、「福井ライフ・アカデミー連携事業実施要項」に基づき本部以外の機関が独自に実施する事業をいう。

(事業費)

第3条 主催事業に要する費用は、福井県生涯学習センターが負担する。

2 共催事業に要する費用は、「福井ライフ・アカデミー共催講座実施要領」の定めるところによる。

3 連携事業に要する費用は、実施機関が負担する。

(広報)

第4条 主催事業、共催事業および連携事業の広報は本部と実施機関が行う。

(手続き)

第5条 共催事業および連携事業の運営方法は、次のとおりとする。

- (1) 共催事業は、「福井ライフ・アカデミー共催講座実施要領」の定めるところによる。
- (2) 連携事業は、「福井ライフ・アカデミー連携事業実施要項」の定めるところによる。

(その他)

第6条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は、平成4年7月1日から施行する。

この要領は、平成6年4月1日から施行する。

この要領は、平成7年7月1日から施行する。

この要領は、平成7年12月1日から施行する。

この要領は、平成10年9月1日から施行する。

この要領は、平成12年4月1日から施行する。

この要領は、平成22年4月1日から施行する。

この要領は、平成23年4月1日から施行する。

この要領は、平成29年4月1日から施行する。

(8) 福井ライフ・アカデミー運営委員会開催要領

(目的)

第1条 福井ライフ・アカデミー事業（以下「アカデミー」という。）の効果的な運営等に資するため、福井ライフ・アカデミー運営委員会（以下「運営委員会」という。）を開催する。

(協議事項)

第2条 運営委員会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) アカデミーの基本方針に関すること。
- (2) アカデミーの総合的かつ効果的な運営に関すること。

(構成)

第3条 運営委員会は、次に掲げる10名以内の委員をもって構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 講座等を実施する機関の代表
- (3) 学習者代表

(運営)

第4条 運営委員会は、県の出席依頼に基づき、開催する。

- 2 運営委員会の議事を進行するため、委員の互選により議長を選出する。
- 3 運営委員会においては、必要に応じ、委員以外の関係者を出席させることができる。

(その他)

第5条 この要領に定めるもののほか、会議の開催に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成28年4月1日から適用する。

(9) 平成31年度 福井ライフ・アカデミー共催講座 実施要領

1 趣旨

この要領は、平成31年度における福井ライフ・アカデミー共催講座（以下「講座」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

2 講座の要件

講座は、次の(1)から(6)の全てを満たすことを要件とする。

- (1) 市町の各所属が自ら企画し、実施するものであること。(他機関等への委託事業は対象としない。)
- (2) 講師またはテーマは次の①～③のいずれかであること。
 - ①平成30年11月22日付け生学セ第109号で配布した「平成30年度版 福井県大学等教員講演テーマ集」に掲載されているテーマ（アレンジ可）から選択したもの
 - ②福井県内の高等教育機関（大学、短大、高専）に所属する教員等が講師を務めるもの
 - ③地域の課題解決を目指すテーマ、地域の発展に貢献するテーマまたは地域の歴史・文化・産業等を学ぶテーマの何れかであるもの
- (3) 講演、ワークショップ、体験・実習などの形式とし、1回当たり60分以上の時間をかけること。
- (4) 他の市町からの参加も可とすること。
- (5) 参加費を徴収する場合は、材料費実費程度に止めること。
- (6) 著作権、特許権等の使用手続きや、その他法的に必要となる手続き等は市町において処理すること。

3 実施の流れ

講座の実施手続き等は、次のとおりとする。

- (1) 市町（実施機関）は、別に定める提出期限までに、「開催希望調査票」（様式1）を福井ライフ・アカデミー本部（以下「本部」という。）へ提出する。
- (2) 本部は、予算と市町の開催希望を基に市町ごとの開催回数を内定し、通知する。
- (3) 市町は、内定を受けた回数の講座を企画し、「企画案」（様式2）を本部へ提出する。
- (4) 本部は、企画案を取りまとめ、福井ライフ・アカデミー共催講座協議会（以下「協議会」という。）に諮る。
- (5) 市町は、協議会に出席し、企画案の説明等を行う。
- (6) 市町は、協議会での意見を踏まえて企画案を修正し、講師等を依頼する。
- (7) 市町は、講座開催日の3か月前までに「計画書」（様式3）を本部に提出する。

- (8) 市町は、講座当日の会場設営や受付、司会進行等を担当する。
- (9) 市町は、講座終了後10日以内に「報告書」(様式4)を本部に提出する。
- (10) 本部は、「報告書」を受理した後に謝金と交通費を講師に支払う。

4 本部の担う事項

- (1) 福井ライフ・アカデミーニュースに掲載するとともに、福井県生活学習館や若狭図書学習センターにチラシを設置・掲示するなどにより広報する。
- (2) 講師の謝金(上限2万円)と交通費(県規定の県内交通費)を直接講師に支払う。

5 実施機関の担う事項

- (1) 講師に打診し内諾を得る。
- (2) 講師および所属長に依頼文や礼状を送付する。
- (3) まなびいネットふくい(福井県生涯学習情報ネットワークシステム)に掲載するとともに、広報チラシ、市町広報誌など様々な媒体を用いて広報する。その際、「福井ライフ・アカデミー共催」と記載する。
- (4) 講座資料の作成、当日の会場設営や受付、司会進行等を行う。

(10) 福井ライフ・アカデミー連携事業 実施要項

1 趣旨

この要項は、福井ライフ・アカデミー連携事業の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

2 連携の基準

連携の基準は、次のすべてを満たす事業とする。

- (1) 福井県内で実施する事業であること。
- (2) 国、県、市町もしくはこれらに準ずる公的機関、大学、専修学校等の教育機関または生涯学習の推進に資する団体が実施する事業であること。
- (3) 歴史・文化、自然科学、芸術、スポーツ、現代社会の課題など、幅広い分野で県民の学習意欲に応える内容であること。
- (4) 事業の形態は、講演、講座(実技、野外活動を伴うものを含む)、演劇・音楽・視聴覚作品(映画等)・芸術作品(美術・工芸等)の鑑賞(展覧)会とする。また、これらに準ずるものと生涯学習センター所長が認める事業を含む。
- (5) 居住市町等を特定せず、県民の誰もが参加できる事業であること。
- (6) 社員、会員等特定の団体の構成員であることを参加要件とした事業でないこと。
- (7) 免許や資格の取得を目的とした事業でないこと。
- (8) 特定の思想や主義主張の支持拡大を目的とした事業でないこと。
- (9) 政治活動や宗教活動、営利活動を伴う事業でないこと。
- (10) 参加料を徴収する場合は、材料費や資料代等の実費を基本とし、参加者の負担軽減に努めていること。
- (11) 参加者の年齢や性別等に制限を設ける場合は、事業内容から妥当と認められる理由があること。

3 事業の流れ

- (1) 事業の連携を希望する実施機関は、「福井ライフ・アカデミー連携事業申込書 兼 情報提供用紙①(以下「①」という。)」または、「福井ライフ・アカデミー連携事業申込書 兼 情報提供用紙②(以下「②」という。)」を福井ライフ・アカデミー本部(以下「本部」という。)に提出する。(4の(1)にある広報誌での広報と、4の(2)にあるオンラインでの広報の両方を希望する場合は、①と②の両方を、それぞれの締切日までに提出する。)

- (2) 本部は内容を審査して連携の可否を決定し、連携が「否」と判断された場合のみ、申込みのあった機関に対し、申込みから10日以内にその旨を通知する。
- (3) 福井県生涯学習館での広報ポスターの掲示やチラシの設置を希望する実施機関は、ポスター1枚とチラシ(枚数は適宜)を本部に提出する。なお、提出されたポスター、チラシは、残部等があっても返却はしない。
- (4) 実施機関は、事業終了後、①または②の「参加者数」欄に参加者数を記載し、本部に提出する。

4 事業の広報

- (1) 本部は、事業実施(開始)日の前月1日までに①が提出された場合は、広報誌「福井ライフ・アカデミーニュース」に掲載し、広報する。
- (2) 本部は、事業実施(開始)日の1か月前までに②が提出された場合は、提出から1週間後を目途に「福井県生涯学習情報ネットワークシステム」に登載し、オンラインにより広報する。なお、前記システムへの登載は、②の提出日から事業実施(開始)日までの期間が1か月未満である場合においても、その効果があると判断される場合には、可能な範囲で行うものとする。
- (3) 本部は、3の(3)の提出があった場合、これを行う。ただし、ポスターの掲示については、掲示スペースに限りがあるため、可能な範囲で行うものとする。
- (4) 実施機関は、可能な媒体を用いて広報に努める。広報の際は、可能な限り、福井ライフ・アカデミーの連携事業であることを併せて告知する。(印刷物には、可能な限り、「福井ライフ・アカデミー連携」と記載する。)

(11) 福井ライフ・アカデミー共催講座協議会 開催要領

(目 的)

第1条 福井ライフ・アカデミー共催講座(多様化、高度化する県民の学習意欲に応えるとともに、地域振興等の推進に寄与するため、福井県内の各高等教育機関(大学、短期大学、高等専門学校)の協力の下、これらの機関が有する優れた資源も活用して、福井県生涯学習センターと市町教育委員会等が連携し、県民向けに開催する講座)の効果的な実施に資するため、福井ライフ・アカデミー共催講座協議会(以下「協議会」という。)を開催する。

(協議事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 福井ライフ・アカデミー共催講座の企画および実施に関すること。
- (2) その他

(構 成)

第3条 協議会は、各高等教育機関の長から推薦のあった委員により構成する。

(運 営)

第4条 協議会は、福井県生涯学習センター所長からの出席依頼に基づき開催する。

- 2 協議会の議事を進行するため、委員の互選により議長を選出する。
- 3 協議会においては、必要に応じ、委員以外の関係者を出席させることができる。

(その他)

第5条 この要領に定めるもののほか、会議の開催に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要領は、平成29年4月1日から適用する。



- ◆福井駅東口(フレンドリーバス バス停)にてフレンドリーバスに乗車、生活学習館にて下車 徒歩1分
(生活学習館先回り約13分、こども歴史文化館先回り約33分、無料)
- ◆福井駅西口バスターミナル5番のりばにて、羽水高校線(60系統)、または西大味線(61系統)に乗車、県産業会館・厚生病院にて下車 徒歩1分(約15分)

福井県生活学習館 ユー・アイ ふくい

〒918-8135 福井県福井市下六条町 14-1

TEL 0776-41-4200(代表)

0776-41-4202(男女参画・企画管理課)

0776-41-4206(生涯学習推進課)

FAX 0776-41-4201

〔施設利用申込専用〕

TEL 0776-41-4203

FAX 0776-41-4210

E-mail seikatug@pref.fukui.lg.jp

ホームページ <http://www.manabi.pref.fukui.jp/you-i/>

あらかじめ、
幸せだったらいいな。

幸せ度
いちばん
福井県



発行 福井県生活学習館（ユー・アイ ふくい）

印刷 社会福祉法人 福授園 鳥羽事業所

この印刷物は、社会福祉法人福授園が障害のある方の就労を支援する目的で運営している鳥羽事業所印刷部において制作しています。